京城日報

發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介 電話長六千九番 振替京城三〇〇番
定價 毎號一部金五錢 一ケ月金壹圓 三ケ月同三圓 六ケ月同五圓五十錢 郵税共

京城日報

移出入税撤廢を期すべし
普通教育費の一部を地方費に移すべし

大正九年度朝鮮總督府の豫算綱要は既に公示せられたり、之に對して賛否いろ〜の議論の起るを免れ得ざらん。も、結局何人も[illegible]を全にして[illegible]ものにあらず[illegible]を難して[illegible]たるの鑑の掩ふべからざるものあり。又教務機關擴張のために他の事業費を犠牲こ爲したるもののもあり、非難はいづれの方面よりも容るべきも、さらば如何に歳入歳出を緊縮して、之を完全にすべきやこいふに、是には大抵一言なかるべし。實際今日の時勢にては、先づ此くらゐの處にて我慢せざるを得ず。されど吾人は此際將來に對する希望を述べ置き、當局の參考に供するに、強ち閑言語にあらざるを信ずるなり。

「歳入に於ける輸出入關税は、併合當時の宣言に基づき、大正九年八月に於て從來の税率を改めこ之を本土同様に直すこは[illegible]當然のことなるが、朝鮮本土間の移出入税は、財源の必要よりして暫らく之を存置すこあり。是れ萬々止むを得ざるに出たるものならんも、餘り稱賛すべきことなりとは思はれず。朝鮮と本土この障壁を撤廢する上に就ても、朝鮮の産業を進進する上に就ても、本土に於いて要求する原料を供給する上に就ても、朝鮮在住民の利益幸福を圖る上に就ても、移出入税の存置は、多大の障害たらざるを得ず。若し出來得るとならんには別に財源を拈出するにしても移出入税は當初の宣言に從ひて之を撤廢するを可こす。然しながら既に豫算の編成も畢り、歳入歳出のツヂツマを合せたる今日に於て、又復之を改むるの至難なるはいふまでもなく、其存置も總に大正九年度に限るこせば、吾人は暫く存置の苦痛を忍ぶも、亦餘儀なき次第なるべし。唯大正十年度以後は是非とも之を撤廢して、眞個に内鮮一如の實を擧げんことを希望して止まず。

僉移出入税を撤廢したる曉に、如何なる財源を拈出して之を補塡すべきやこいふに、幸に適當なるものを發見し得ば、之に上越したることなしと雖も萬一其の缺陷を塡むべき方法なしとせば、歳出に向つて多少の加減を試むるの外なからん。吾人の管見を以てせば、現在鮮人に對する普通教育は、國費を以て之を支辨しつつありと雖も、こは決して永遠に繼續し得る事柄にあらず、早晩其の幾分を地方費に移すの止むを得ざることは明々白々たり。されば若し明年度において移出入税を撤廢し、歳入に於いて幾分の缺陷を現ずとせば、教育費の幾部分を地方費の負擔と爲し、以て其の出入を均衡するを以て、最も行ひ易く、且つ正當なる處置と爲す。或は之を以て朝鮮在住民の負擔を重くすと非難するものならんも、一方に於いて現に負擔しつつある關税を免除せられ、各種の便宜之に伴なうて來るべきが故に、多少の教育費を地方的に分擔するが如きは、決して困苦を感ずるに至らず。況して教育費の如きは、義務教育實行の曉こもならば、否應なしに其の大部分は地方分擔に移るの止むを得ざるものをや。

海南の寶庫 比律賓 （二）

また比律賓は米不足の爲め其の價額は頗る騰貴してゐる地産の上米は一ガンダン（我國の一升三三合）が一圓二三十錢、下等米が七八十錢を越ゆるものがある中々日本ごころの騒ぎでない是れに對し政府は鐵道船舶の輸送に依り輸入米の分布法を講じ百方調節策に腐心し民間でも政府こ力を併せてゐるが米價が斯くの如くなれば自然諸物價の騰貴も免るべからざる事で實に香港の物價の二三倍高を示し生活難の爲めに起つたストライキは一九一八年來迄に八十二件の多數を算してゐる併しながら彼等のストライキは主張の貫徹に努むるのみで斷じて暴行をせず比較的秩序が保たれてゐる次に移民に就て述べて見るとラバオ及びヒルドサイに於ける我移民は殆んど大工木挽等の工業勞働者及び農業從事者の二種である其の他には僅に漁夫の移民もあれど其の主なるものは前述の二種で是等工業勞働者はマニラ附近に働いてゐるが一日の所得は四圓十八十錢乃至五圓位農夫でも少し器用なものは工業勞働をやつて三圓七八十錢の收入がある而して農夫はバシラン島にも居るが夫こして働いて ラバオ 島の奥地である（稲原 川五郎氏談＝東京）

生別死 （不許轉載）
〔八七〕 血統 服部 [illegible]

井上は俯向いて晃の說を熱心に聞いてゐたが徐ろに顏を上げた。

「砥上さん、貴郎の仰せは能く分りました。私は貴郎の義俠に對して秘密の鍵を明けませう併し打ち明けますに就て、念の爲め伺つて置きたい事が御座います。それは他でもありません。從來の御知己でもない貴郎が、三浦一家をごう云ふ御關係から斯く迄保護せらるゝに至つたか、其動機を承はりたいもので御座います」

「成る程詳しく話さなかつたから、其點に就いて疑念を懷かるゝのは尤もだ、實は僕の亡父が嘗て教科書事件で冤罪を蒙つた時、三浦重之君こ君こ御同姓の警視廳の刑事井上常太郎君の盡力に依つて、亡父が臨終の日に冤罪が全く雪がれた。三浦一家こ井上一家こに對して自分に代つて恩を報じて吳れこ云ふのが亡父が最後の遺言でした。其後三浦一家を知つた時には重之君は故人こなられ、一家が非常に窮狀に陷つてゐたので、せめては遺族を救濟するのは父の恩に報ずるので畢竟亡父に對する孝道の一分こ心得たからです」

「初めて承はりました。能く合點が參りました」

「して、君こ三浦一家こはごう云ふ御關係ですか」

「私は今貴郎の被仰いました井上常太郎の倅で御座います」

井上に砥上が父の關係者であつた事が不意であるより、砥上には謙治が常太郎の倅である事が更に一層意外こするところであつた。一刑事巡査の子に大學助教授文部省留學生こ云ふ事は少し意想外であるから常太郎こ重之この關係は前々から聞き及んでゐた。今は全く菊枝こ謙治この間に抱いてゐた疑念も晴れ、謙治が一家の秘密を知り、又自分の縁談申込の一件を知つてゐる事に就ての不審も解けた。

「さうですか常太郎氏の御子息たつたのですか、是は全く偶奇的だ。實際僕が迂闊でした、御親父こ三浦一家この關係は以前より傳聞して居り、今又同姓の君が三浦一家こ一方ならぬ間であるのを聞いても、常太郎氏の御子息であるこは想像も及びませんでした。そこで斯う話合つて見ればお互に三浦一家こは切るに切られぬ因縁があります君の御親父は重之君の冤君に受けられた恩に對して三浦一家に盡くさる、僕は僕こ又亡父の受けた恩に對して三浦一家に報ずる、[illegible]重之君は[illegible]して歿くなられたの[illegible]」

「それです、實はそれからが秘密です、今は何も彼も包まず申上げます、結願彼等一家に同情の涙を注いで下さい、併し遺憾ながら貴郎の結婚は擯たなければなりません」

「結婚の件は素より先方の意志をも確めなければならん、僕が飽ら頑張つて所望しても先方に其の意志がなければ成立つもんぢやない、併し僕の方からは斷じて中止しない」

「貴郎がさう云はるゝだけ益々打明け難い、聞かれたら必ず失望せらるゝから」

「今こなつては[illegible]で斷念しない、では兎に角結婚問題は別こして重之君の死因から先づ伺ひませう」

井上は幾度か躊躇[illegible]たが遂に口を切つた

「砥上さん、憐れな彼の一家に同情して下さい。菊枝さんが一生孤獨で世を渡るこ決心されたのも重之さんの病氣の性質からです、重之さんは世にも忌み嫌はる、天刑病に罹られて歿くなられました、其臨終に菊枝さんに對し一生孤獨で暮せ他家に入つて純潔な血統を汚すなこ遺言されました」

「井上君！秘密こ云ひ事情こ云ふのは唯それだけか」

定めし失望するだらうこ豫期してゐた砥上晃の案外平氣な態度こ事柄を氣にも掛けない質問には聊か井上を驚かした。

「それだけです」

「有難う、では改めて僕は結婚を申込みます」

井上は砥上の斷乎たる信念に呆れた氣味である

「でも菊枝さんは遺言に背く事になります」

「遺言に背く？、夫は困つたね重之君は斷じて結婚するなこ云はれたのですか」

「はい、他家に入つて父こ同じ運命に泣くな、良人をしてお前の母こ同じ悲しみをさすなこ呉れぐも言ひ遺されました」

物品購買廣告
一、帶鋸 八枚
右購買ス詳細ハ一月十三日以降ノ朝鮮總督府官報ヲ見ラレタシ
大正九年一月十三日 朝鮮總督府營林廠

入會好期 國民法律
日常法律顧問 實際問題解説 判決例、學說 評論一目瞭然 年極前金會員 質問鑑定顧問 一年分郵税共壹圓 一部十錢
十一卷一號（一月號）九百頁
（外數十項）
東京市麴町區紀尾井町三 國民法律社 振替東京一六七六番

東京工科學校
本科 土木 採鑛 冶金 建築 機械 電工 一二期 各科及電工高等科 生徒募集
一期小學卒業 二期中學三年程度 本科一期中學卒業程度者 無試驗編入
新學期三月六日 願書三月六日限 授業晝間夜間 規則要郵券二錢 東京神田錦町 振東三三七〇

内務書記官 田子一民先生著
米國に於けるアルコール戰
世界の驚異たる全米國の禁酒法案通過は現代に於ける最も注目すべき社會運動たり。著者襲に歐米を巡遊し親しく米國に於ける禁酒運動の由來こ其沿革を究め、惑病禁ずる能はざるものあり、歸來筆を呵して此一書を成せり。時哉歳末年始に際し、飲酒の習俗最も熾んなるの際敢て本書を江湖に推薦す。
▼四六判 [illegible] 定價[illegible] 送料[illegible]

米國 フレデリック・ホー博士著 神奈川縣理事官 長岡喜一郎先生譯述
都市問題の研究
四六判布裝入美本價一圓 送料八錢
本書は歐米都市制度の内容、其他各般の施設を徹底的に比較研究したもので、方今都市問題の一切を包含し、所謂穩健、譯文流麗、苟も最近の社會的施設問題に接觸して、時勢に後れざらんことを欲するもの、座右に缺くべからざる良書である。

中央報德會編
戰後の地方改良
▼菊判布裝峽入四百十三頁 ▼定價金二圓 送料十二錢
歐洲の大戰により各方面に改造革新の氣運勃澎せるものあり。地方改良の事業亦戰後の世界に處する爲め大に革新の要あるものあり。本會茲に此の要に應じ第二回講演會を催し當代自治各方面の權威者に囑して其の講演を請へり本書收むる所即ち是れなり、されば本書の内容は極めて豐富に地方自治體の實績を擧げ、民力增進に必要なる各種の實際的方法並に思想上の諸問題は本書に依りて之を知るを得ん。

守屋榮夫先生著
地方自治の精神
▼四六判函入美本 ▼定價一圓二十錢 送料八錢
本書の特色は、單に地方公共團體の形式方面を解說するに止まらず、更に進んで其の實質を解剖し、神聖雄大なる使命を說示せる點に在り、即ち地方人民の理智明徹以外に情操的涵養を眠こせる所に在り。卷末に添へたる地方改良家の逸話の如き、頗る興味多き文字となす。 時事新報評

井口丑二先生著（增補再版）
報德潮源
▼菊判布裝美本 ▼價一圓五拾錢 送料十錢
古儒の糟粕を排し直に天地自然ご活ける人間を相手こし獨自一個の見識を以て一家の哲學を大成せる二宮尊德の偉大なる思想は現今の澆漓こして歸一する所を知らざる我が思想界を匡救するに唯一の妙劑たり著者襲に萬事を放擲して日光今市の圖書館に入り二宮翁の遺書一萬餘卷を讀破し翁の哲學の眞髓に發して之を組織的に解說したるもの本邦唯一の報德哲學ご稱すべく不朽の名著たり
發行所 東京赤坂區溜池町三十一 振替口座東京九七〇〇番 中央報德會

株金拂込催告
當行株式第三回拂込株金未拂込者ハ大正九年一月三十一日限遲延利息ヲ添ヘ御拂込相成度若シ右期日迄ニ拂込ナキトキハ株主ノ權利ヲ喪失セラルヘク候此段法ノ規定ニ基キ公告候也
大正九年一月十二日
株式會社 朝鮮殖産銀行

謹賀新年
◉高等外交員 招募
老生從來四國地方に於て四十有餘年間貸金營業に從事致居候處今春を以て古稀の齡に達し相當の資本を以て左記二大事業さして多年の經驗に出發し相當の資本を以て株式會社の創立發起を決意し全力を傾倒可致候
日本貴重品倉庫株式會社
右は庶民金融改善の目的を以て（寄託品に對し低利貸附を爲す社會問題より出で改善したる貸庫業）
日本林業利殖株式會社
右は林業資金供給の目的を以て（金觸投資の便利を缺きたる立木山林等に對する短期の割易貸附）
然るに老生は從來貸金業を營み居りしも各地に知己を有せず以外の事業起らさる如く候故に各地會社の配當は職業的人材を得ることに候間高等外交員若干名を招聘致度候右株主及右適任者のあれば御紹介を希望致候
◉高等外交員 招募

有價證券擔保貸金
之ニ關連スル現物ノ委託賣買
大阪市北濱四丁目心齋橋筋角
株式會社エビスヤ店
店主 村上寅吉
電話本局 三四二一七二番 三〇九二番 ◉特番 大阪七五八八番

小生從來龍山淸水材木店の名義を以て營業中は一方ならさる御引立を蒙り誠に有難く御禮申上候然るに今回都合に依り同店の名義を離れ眞野東洋木材洋行を經營致す事に相成候に就ては從前に倍し一層の御愛顧御引立の程偏に奉冀上候
各種木材卸商 眞野東洋木材洋行
眞野明雄
京城府漢江通十一番地
電話龍山長五四五番 八六〇番

小學男生 二月號
▼尋常二年以上の男生にとつて此の上ない良友！非凡な教育的の編輯振りは兒童天然の快活な氣質を善導します。科外讀み物の絕好品！
◎（小說）雪 なげ……青 流
◎（寫眞）おもちやの國……
◎（懸賞）福引當選發表……
◎（お伽）赤い風船玉……思 水
◎（小說）蜜柑畑……絃二郎

小學女生 二月號
▼子を思ふ父兄は本誌を御覽下さい
▼尋常二年以上の女のお子さん方の美しい感情を育てゝ行くものは本誌の外にありません科外の好讀物
◎（口繪）海邊の朝……清 雄
◎（寫眞）居なくなつた人形……
◎（小說）焦げたお芋……掬 水
◎（小說）匿 氣 樓……邦 彥
◎（畫こ詩）人魚女王……新 作

幼年の友 二月號
▼天使の樣に無邪氣な坊つちやんや孃ちやん方の一番お喜びになるのは此の雜誌です幼稚園から尋常一二年位迄のお子さん方は是非御覽
◎好評 仕掛け表紙……
◎新お伽噺 獵師の家……麥 花
◎繪こ小唄 竹馬の競爭……
◎繪物語 まぬけ猿……
◎小學男生（特別號一冊廿五錢郵稅一錢◎普通號一冊二十錢郵稅一錢◎半年分六冊一圓廿五錢）◎小學女生（同上）◎幼年の友（一冊二十錢郵稅一錢◎半年分六冊一圓十五錢◎一年分二圓二十錢）
東京市京橋區 實業之日本社發行

學生募集
京畿道廳認可 京城自動車講習所
専科入學資格 滿十五歲以上ノ男女ニシテ小學校及普通學校卒業者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者 ◎入學時期 毎月十五日 ◎教授科目 自動車學 電氣學 自動車修理方法 自動車操縱法實習 ◎修業期間 二ケ月 ◎目的 學術品行優秀ナル自動車運轉手技術者及販賣員ノ養成 ◎設備 最新式オーバランド號一臺フオード號三臺其他自動車ノ部分構造作用ヲ一見シテ明瞭ニ會得セシムル本所特有ノ切斷自動車 ◎實習場 京城府光熙門内訓練院廣場 ◎學費 入學金授業料實習料教科書料參考書等合計金百三十二圓前納トス
校外生科 校外生科卒業者又ハ本所規定ノ試驗ニ合格セルモノヲ收容シ一ケ月間ニテ自動車操縱法ヲ實習セシム學費ハ金九十七圓ヲ前納トス
通信教授科（教授傳代）合計金拾七圓 [illegible]
◎各科ヲ修了セル者ハ研究科ニ收容シ左記科目ヲ修得セシメ其職ニ講習セシム ◎自動車所要ノ學科 自動車運轉手試驗ノ準備 運輸營業ニ必要ナル法規 自動車實習 自動車修繕法及修繕法實習
京城府黃金町三丁目百廿三番地 振替京城一八一七番 電話本局二〇六〇番

公債賣出し
郵便局
値段
五百圓券 四百七十五圓
百圓券 九十五圓
五十圓券 四十七圓五十錢
二十五圓券 二十三圓七十五錢
一月二十日より三十一日まで
利子 年五分（毎年六月十二月拂）
利廻 六分三厘餘
元金 大正十三年十二月一日仕拂
日本銀行京城代理店
朝鮮銀行

新春の運試し
七十四回 一月二十日くじ新券
壹萬圓 當り同番五通組賣 百十圓
八千圓 當り同番四通組賣 六十圓
六千圓 當り同番三通組賣 卅五圓
四千圓 當り同番二通組賣 廿一圓
貳千圓 當り一通 十圓（送料十錢多數御引受）
▼上記五、四、三、二通組御買入れ特價 貳百十圓
▼十四通同時御買入れ特價 百十圓
▼[illegible]
竹田商店債券部 電話[illegible] 振替[illegible]

TRADE MARK
お馴染のわさび漬瓶詰
辛味の多きと保ちの永きは他に類なし 眞に天下一品
罐詰、漬物、乾物食料品店にあり
發賣元 大阪笠屋町 井吉商店

外務主任募集
地方人二名 年齡廿五歲以上 百圓以上ノ給與ニ支アル人格アル者 十二日ヨリ十六日迄午前十時ヨリ十二時迄履歷書携帶 明治町小川旅館内 青木

謹啓 小生出發の際は寒氣の砌り御厭ひも無く御見送被下御厚意の段奉深謝候
一月十三日 堀 諒

株式會社安城商事設立 安城出張所
[illegible]

愈々自動車全通
釜山…蔚山…慶州間
蔚山自動車組合
切符發賣所 釜山 五電自動車部

式A 製繩機
移店擴張紀念三百台限り破格提供
圖入說明書送呈 大阪九條南通り三丁目 大阪[illegible]
[illegible]

刑事專門 辯護士 本木房吉
京城府黃金町三丁目二十番地（大阪ドラック東側小路入ル）
電話長二四一三番

平和克復大詔渙發

十三日午前十時左の如く平和克復大詔渙發せられたり（東京至急電報）

朕惟フニ今次ノ大戰亂ハ兵戈五年ニ亘リ世界ヲ衝動セシメタルモ我カ聯合諸友邦勇奮努力ノ偉烈ニ依リ戰亂一掃平和全ク復スルニ至リタルハ朕ノ甚タ欣フ處ナリ今此ノ紛擾ノ局ヲ收メ安寧ヲ將來ニ圖ルハ素ヨリ諸友邦ノ協同燮理ニ俟タサル可カラス曩ニ講和會議ノ佛國ニ開カルヽヤ朕亦全權委員ヲ簡派シ其ノ商議ニ參セシメシニ平和永遠ノ協定新ニ成リ國際聯盟ノ規模茲ニ立ツ是レ朕カ衷心實ニ欣幸トスル處ナリ共ニ又今後國家負荷ノ重大ナルヲ感セスンハアラサルナリ今ヤ世運一轉シ時局遽ニ變ス宜シク奮勵自彊隨時順應ノ道ヲ講スヘキノ秋ナリ爾臣民等深ク之ニ省ミ進ミテハ帝國ノ國是ニ從ヒ世界ノ大勢ニ依リ以テ聯盟平和ノ實ヲ擧ケムコトヲ思ヒ退イテハ重厚堅實ヲ旨トシ浮華驕奢ヲ戒メ國力ヲ培養シテ時勢ノ進運ニ伴ハムコトヲ力メサル可カラス朕ハ永ク友邦ト共ニ和平ノ惠ニ依リ休明ノ澤ヲ同シクセムコトヲ期シ朕カ忠良ナル臣民ノ一致協力ニ倚藉シ衆庶ノ幸福ヲ充足シ文明ノ風化ヲ弘布シ倍々祖宗ノ鴻業ヲ宏恢セムコトヲ冀フ爾臣民其レ克ク朕カ旨ヲ體セヨ

御名御璽

大正九年一月十日

各大臣副署

聯合國要求手交 平和は克復されたり

議定書調印光景別報

既電の如く獨逸講和委員長レルスナル氏は十日午後四時ケードルセーに於てクレマンソー、ロイドジョージ、ニッチ、並に松井大使諸氏の面前に於て議定書に調印せり其の後クレマンソー氏は聯合國が特に海軍材料二十萬五千噸より三十一萬噸に要求せんことを主張せる通牒をレルスナル氏に手交せるが最後に講和條約に對する二十六締盟國の代表者は時計の間に於て批准交換式に列席したり尙講和條約批准を行ひたる十四箇國代表者は議事錄に調印せるが當日は演說は行はれずクレマンソー氏は斯くて十五分間の後議事を終結し同時に曰く講和條約は今や効力を生じたるを以て其の條項は悉く履行せられざるべからず平和は茲に克復されたりと（巴里電報）

寄託署名十四國

外務省着電＝對獨講和條約第一同批准寄託書に署名せるは日英佛伊の四大國及び白耳義、ボリヴィヤ、巴西、ヴワテマラ、秘露、波蘭、暹羅、チエック、スロヴァック、ウルグワイ、獨逸の十四箇國なり（東京電報）

批准寄託調印と我が今後の責務

内田外務大臣談

對獨講和條約批准寄託調印公電は十二日朝到着せるが右は愈々十日午後四時十五分巴里に於いて調印されたるものなり而して其の調印國は十四箇國なるが唯聯合國は米國が條約實施に參加し得ざるを殘念とするも米國大統領は此問題を以て次期大統領選擧に際し一般投票に問はんとしロッヂ派も賛成し居れば米國に於て批准の確定しるは一に之れが運用如何にある可く又條約には當面の問題と將來の平和維持に關するものとあり卽ち後者は今後幾十年間此條約は世界外交の骨幹となるべき事と思惟さる而して其成功不成功は米國大統領選擧の時卽ち十一月頃となるやも知れず然し乍ら現に條約實施に入りし以上は勞働に關する條約等も規定しあれば各國の責務愈々重大なり之に就き樂觀或は悲觀を爲す者あるも日本としては常に條約の精神を尊重し世界の新しき運命に貢獻するの覺悟なからざるべからず尙過般の戰爭は精神的にも物質的にも國力の充實せざる可からざる事を證明せるが今後十年の後は互に想像し得ざる波瀾ある可きを以て其覺悟や重大ならざる可らず余は唯此機會に於て日頃抱懷せる意見の一端を述たるのみ云々（東京特電）

首相外相伏奏

既報の如く講和批准交換終了の公電巴里より到達せるに就き賜暇越別莊に在りし原首相は十二日歸京し午後一時卅分直ちに參內陛下に拜謁仰附られ伏奏する所あり又內田外相も同時に參內稍々伏奏する所ありたり（東京特電）

川崎氏授爵

十二日午後二時宮中に於て左の如く授爵親授式行はせられたり

川崎芳太郎

勳功ニ依リ特ニ華族ニ列シ男爵ヲ授ケラル

因に川崎芳太郎氏は目下病床に在るを以て第十五銀行頭取成瀨正恭氏代つて宮內省に出頭し爵記を拜受せり尙近く安川敬一郎氏に對しても授爵ある可しとの說あり（東京電報）

加藤大使動靜

加藤大使は六日イルクックを出發し十一日齊々哈爾に到着し十一日朝哈爾賓に向け出發したるが多分歸朝する事となる可し（東京電報）

獨政府顚覆

十二日紐育發三井物產着電に依れば獨逸に革命起り政府は顚覆せりと（東京電報）

獨逸工場檢査

獨逸各階級の不安

最高會議は講和條約實施後各委員に對し何時にても獨逸の國有及び私立工場の總てを檢査するの特權を與へ且つ之を嚴格すべく命じ同時に獨逸に要求したるが右は獨逸の各階級に至大の不安を抱かしめつゝあり（伯林電報）

アドリアチック問題と兩相

英伊兩首相の會見は六日朝來開始されアドリアチック問題に就き審議中なりと傳へらるゝが形勢は從來に比し有望なりと思考せられ基礎案の決定を見る可く次いで巴里にて來週中最終的決着に達する事を可能ならしむ可しと期待せらる（倫敦電報）

佛大統領選擧期

佛國大統領選擧は一月十七日施行さるゝ旨公布されたり（巴里電報）

山東問題學生委員議決

十日全國學生聯合會常任委員等は山東に於ける獨逸の權利を日本が繼承するを宣布せんとするを以て（一）全國に打電し死を誓ひて力爭する事（二）南北政府に對し打電し完全に日本政府の通牒を拒絕する事（三）北京外交團に打電し國民は萬事認め難きを聲明する事と爲し二日以內に實行し陳徵祥氏上海通過の節該意見を交附するに議決せり（國際通信上海電報）

現下の國患を奈何

支那要路大官談

支那は國體改造せられて以來內憂外患の頻發のみを以て更に八年を經過し未だ國基を鞏固にする能はず內政の不統一は野心政治家に陰謀の際を與へ外患の頻發は各强國に乘ぜられ國協保[illegible]

平和克復と勅令

三十東南洋及び山東の行政に關する勅令、浦江に關する協定等發表せらるべく[illegible]獨逸との平和條約[illegible]

中華民族の存在と民國の主權とを完全に確認せる

全の前途は益々危殆に瀕せんとす吾人は此の困難なる境遇の下に民國八年を送りたるを恨むこと共に先づ改年に際し大なる覺悟を以て新に企畫する處なかるべからず卽ち速かに國內を統一し各友邦と親交を敦うし平和を基礎として國運の隆盛を期し以て全世界をして我中華民族の存在と民國の主權とを完全に確認せる平等なる國際地位を獲得し永遠に東洋の平和を維持せんことを圖らざるべからず而して吾人の此の新希望の遂行は決して難事に非ざるべし現今民心大に動搖し居るを以て我中華民國の前途を危み歐米人の如きは內心殆んど我民國を國際統治を以て管理せんとするが如き傾向あるも是は彼等が表面先進文明國を裝ひ裏面には橫暴と强權とを以て迫り所謂弱肉强食の思想に捕はれ居るに外ならず之れ世界各國の前身の歷史を知らざるに基因する幼稚なる思想と云ふべし卽ち世界何れの國と雖も其國體又は政體改造の當初は十年乃至十數年間は幾多の波瀾曲折を繰り返し後漸く國基を定め今日の强大を實現するに至りたるものにして米佛然り日本亦然り我中華民國亦近く世界の新潮流の固定と共に國民の思想一定し今日の內憂外患の悉くを掃盪するに至るべきを信ず（北京電報）

東清從業員怠業傾向

東淸鐵道從業員は近來再びストライキ不滿給料の不滿を抱ける東淸鐵道從業員は近來再びストライキの前提として輕微のサボタージュを行ひ居れりとの說あるも長春驛の列車發著には未だ何等の影響無く運轉繼續せるも全線に亘りて其の傾向あるは事實なり尤も我が國の監視ある以上一時傳ふるが如き大規模の罷業は到底實現を見る無かるべきも唯露國新年に際せる彼等の勤務に弛緩あるは免れざるべし（長春特電）

予の辭意說は無根

總督の上京を待ちて歸任

水野政務總監談

大臣に就任中の水野政務總監は先づ總督に之を申出で然る後に世間にては予が辭意を申出でたるかの如く傳へ居るも何等の根據なく不明なるも如何なる方面より傳はりしや予の辭意を決し居れるが如く傳ふるも孰れも事實無根の風說に過ぎず朝鮮統治の困難なるは朝野の問題となり隨つて種々の流言蜚語行はるゝは當然にして予の辭意說も是等に關聯して傳はりしものと思惟す予は最早十日歸任の豫定なりしも總督の上京を待ちて歸任する筈なり（東京電報）

勞働使節代表歸朝

十三日拂曉橫濱入港

國際勞働會議に列席したる鐮田使節武藤資本家代表桝本勞働代表田中爵人顧問一行は愈々十三日拂曉橫濱入港の西伯利丸にて歸朝せしが着京の時刻未定なり（東京電報）

恩賜金事業擴張

時流に順應し社會事業經營

齋藤總督諭告

府郡島隣保恩賜金事業費の使途に就き時勢の變遷に付き變更の必要あり齋藤總督は一月十三日左の如き諭告を發し爾今之を社會的事業に支出する事を得ることなれり

擴に併合の行はるゝに際し聖旨に依りて特に臨幣一千七百餘萬圓を府郡島に配付し專ら士民の授產、敎育の補助、凶歉救濟の資源に充てしめたり爾來茲に十年之に依りて救恤窮民の途を開きしこと尠少に非ず然るに近時歐洲大戰の後社會の情勢一變して中產以下の者生活の脅威を受くること最も甚しく之が對策を講ずるは洵に刻下の急務に屬す此

更に聖旨の徹底を

恩賜金事業擴張に就て

大塚內務局長談

明治四十三年八月日韓併合の當時に於て特に聖旨に依り一般民衆に對し種々の惠澤を垂れ給ひし事は一般のよく之を了知せる處なり之等の內臨時恩賜金中一千七百卅九萬八千圓を全道各府郡島に配分し之を基金として永久に保存し其利子を以て內六割は士民の授產に充て困窮に陷りし兩班儒生其他恒產なき者に對し適當の職業を與へ生活の保障を得せしむる目的を以て支出する事となり今日迄蠶織、機業、農事、紙綿、製紙、製鹽並水產等に關する傳習事業、種苗、器具其他材料の配付を爲し來り又內三割は敎育に支出し公立普通學校の經費に補助し又地方に依りては私立學校等の經費に就いても補助する所あり殘り一割は之を凶歉救濟事業として災害時に際し種穀、農具、食糧を給し其他必要に依り醫藥、家屋料、被服を給與するの方法を設け夫も相當の成績を收め來れるを以て從來與へられたる施設に付て府郡島に於て之を今後府郡島に於て地方の情勢に適當せしめて各地其他の情勢に應じて社會事業を營む事を得せしむる社會事業の施設の必要を認むるに於て時流に順應し更に有効に聖旨の存する處を一般に徹底せしむべく今回の總督諭告を以て恩賜金事業中改正を見るに至れる次第なり

惟ふに社會事業は必要なきに到れるを以て從來與へられたる施設は今日職業の起らざるを憂ふる都會地に於ても亦之を救濟せざるべからざる事となり

大手綿布商救濟

群山東松前支店の整理

各銀行債權者の一致

十二日午後三時頃より朝鮮銀行樓上に於て同行幹部連及び殖銀、一銀漢銀十八各行代表者等參集し何事か熟議する所ありしが右は大問題大手綿布商東松前商店の群山支店に對する手形支拂期日猶豫に關する協議の內容に就いて

[illegible]

協議の內容

聞する所に依れば木浦に本店を有せる綿絲布商東松前商店の群山支店に對する手形支拂期日猶豫に關するものにて事の起りは同群山支店主任は昨年綿布の暴騰に乘じ思惑をなし一時二百萬圓の多額に上り其結果當時一般綿布商が警戒を加へ銀行業者に於ても綿布貸出しの警戒をなせるにも拘らず同支店は依然買方針を一貫し居りたるも如上の狀況にて銀行よりの融通圓滑を缺くに到り遂に一種の救濟を要するものありたるを以て朝鮮銀行にては近く同店の調査したる結果同店資產狀況は負債の狀況及び實持品の品種を負債を皆濟して尙且つ餘裕あるものと認められたるに付關係銀行業者を會集して之が救濟方法

銀行業者を

拂明日に猶豫を與ふることを協議し其結果現時の如き綿布界の强調持續するに於ては明日を猶豫して救濟することに異議なく決議せるもの、如し又一方同店の主なる債權者たる京城共益社天平邸松前商店仁川河野商店等は四五日前京城に相會して東松前商店より受くべき手形金額は夫々關係銀行より割引をなし居るを以て其期日に於て同店が支

銀行側とか

拂はざる場合銀行は振出人たる以上各店に入金を迫る事なくば同店資產狀況は如上の通り幾分の餘地あるもの故支拂期日の猶豫を申合せたりとも云ふかくて同店に對する以上債權者と猶豫に付相互に意見の合致を見るべく尙ほ同店資產

債務內容

東松前商店は代表者松前みねの管理に依るものにて同店に對する主なる債權者及貸越金額は木浦松前の三十一萬圓仁川河野二十五萬圓京城共益社十七萬圓安山背見九萬圓馬山吉田十一萬圓等約百二十萬圓となり外に商品價見積代金二百萬圓に對し之を擔保として銀行業者側より九十萬圓の貸出金あり其他水田等の不動產を加算せば一切の債務を償却して尙十八萬圓位の資產剩餘を見るべく結局債權償却方法は銀行擔保物件を順次償却して之に充當すべく又支拂手形の猶

總督邸晩餐會

總督は十二日午後七時官邸に同日入城したる千坂鎭海要港部司令官並に米國通信員テーア氏夫妻其他を招待し晩餐會を催したり

新事業企畫

續々出願

昨春以來內地財界の好況と共に各種の事業企畫されたるが京畿道內に於ける昨年中の新規出願の件數は實に八十件總資本額一億五百九十五萬一千五百圓に達し之れに支店設置出願十件資本額二千八百五萬圓を計上する時は總計九十一件一億三千四百四十五萬一千五百圓に達すべしと今之を百萬圓以上の新規出願會社を列擧すれば左の如し（▲印は却下單位一千圓）

月別	會社名	資本額
一月	南北棉業會社	一、〇〇〇
同	不二興業會社	一、〇〇〇
三月	▲株式米綿取引所	二、〇〇〇
同	京城紡織會社	一、〇〇〇
四月	大正製藥會社	二、五〇〇
五月	株式現物取引所	一、〇〇〇
六月	東洋物產會社	二、〇〇〇
七月	朝鮮醸造會社	一、五〇〇
八月	ソウルホテル	一、〇〇〇
九月	日韓木材會社	一、〇〇〇
同	朝鮮化工業會社	五、〇〇〇
同	朝鮮森林鐵道會社	一、〇〇〇
同	西鮮拓殖鐵道會社	一、〇〇〇
十月	忠南輕便鐵道會社	五、〇〇〇
同	豆満江林業會社	二、〇〇〇
同	朝鮮興業鐵道	五、〇〇〇
十一月	朝鮮產業鐵道	二、〇〇〇
同	東亞商工會社	一、〇〇〇
同	大正土地建物	一、〇〇〇
同	京城取引所	五、〇〇〇
同	東亞製紙會社	一、〇〇〇
同	▲三種現物實買市場	三、〇〇〇
十二月	朝鮮產業貿易	一、〇〇〇
同	鴨江拓林鐵道會社	五、〇〇〇
同	北鮮興業鐵道	一〇、〇〇〇

右の內過半は既に許可されたるが猶年に入りてよりも續々出願され十日迄に株式會社中商銀行（資本金十萬圓發起人代表中村元次氏）朝鮮證券信託株式會社（二千萬圓田中友吉氏）朝鮮羅災株式會社（二千五百萬圓崔汝發氏）朝鮮生命保險株式會社（百萬圓閔元植氏）先東自働車株式會社（二萬五千圓李範益氏）等五件一百五十七萬五千圓の出願を見るに至れりと

米穀取引

安信の新事業

安東證券信託株式會社が將來米穀取引をも營む事は豫てより噂されし處なるが當事者間に於ては今回愈々之れが機運を促進する事となり奉天某有力者と協力して目下畫策中なりと云ふ右の內容を聞する處に依れば現在の資本金二百萬圓を第一回拂込みの儘買收して新に一千萬圓の大會社と爲し米穀を主とし柞蠶、木材豆粕等の取引を營み米穀は支那米建となし朝鮮米は之れを標準として格付する等となし其の受渡を新義州に於て行ふ

現物市場

三次目出願

鈴木龍次郎氏を代表者とする京城現物市場の三次目出願は十三日資本金三百萬圓とし府廳經由總督府に出願したりその內容は市場所屬仲買人をして有價證券の賣買をなさしめ並に受渡し資金の一時立替をなすものにて賣買期日は三日間としその證據金は取引高の二十分の一に定め市場の建株は資本金五十萬圓以上の會社とする等なり

仁川期米波瀾

十三日前場の仁川期米は寄附高値五十四圓廿錢止め四十九圓九十七錢安値四十九圓五十五錢と五十圓の關門往來の波瀾を示せしがその崩落は前日の買ひ過ぎ反動後高は不二節の買直しにあると觀測さる尙相場の波瀾に伴ない出來高も三十萬石を越へたり

朝郵新船註文

二隻契約濟

朝鮮郵船會社にては客臘原田取締役會長松崎會社專務大阪に會合の上新船五隻約五千噸の注文につき造船所と協調をなしたる結果內二隻（一千六百噸形に二十噸）を大阪鐵工所に注文する事となりたるが一千六百噸級は鐵工所十月一千噸級は八月なり尙ほ他の三隻の注文は決定せず

龍山倉庫新設

朝鮮總督府にては臨時用物取扱所構內の空地を借受し百二坪十棟計千二十坪のバラック建倉庫を新築中なりしが此程竣成を告げたり右は總督府の貯藏倉庫に充つる計畫なるも倉庫に充つる必要なき爲め一般貨物の寄託を受けつゝあるが漸次寄託の增加を見るべく是れが爲め龍山商人は多大の便宜を得る事となりたり

興鐵沿線視察

三氏歸來談

朝鮮興業鐵道沿線豫定地視察中なりし津田原吉田の三發起人は十三日朝歸城したるがその歸來談を聞くに此行の目的は（一）沿線の視察（二）終端地順川より延長問題（三）枝線の岐點（四）經路上の前途豫測等にあり先づ延長問題は順川間の道路の平坦にして殆ど鐵道敷設上の困難少きは吾々の最も意を強うしたる所たり唯一の沿線の絲狀物產あるのみ沿線大平野にして米穀その他の農產物多く又旅客の來往大同江の舟楫によ

殖銀四次拂込

殖產銀行にては第四回拂込み金二百萬圓を十日より徵しつゝあるが十五日を期限とせり

滿鐵使用語改正

滿鐵に於ては從來外國人に對する往復文書は外國語を使用することを本則としたるも右は譯文上非常なる手數を要するのみならず誤謬の爲め事務の行違ひを生ずる事も勘からざるを以て今般之を改正し特別の場合を除き總て邦文を使用することを本則とする事となせるが此種文書取扱上一大英斷と謂ふべしと云ふ

千坂中將訪府

十二日入城したる鎭海要港部司令官千坂智次郎中將は十三日午前總督府に齋藤總督を訪問し入城の挨拶を爲したり

辭令

全國左の通り辭令あり

總督府道事務官 趙周顯

任總督府郡守（八等）

忠淸北道堤川郡在勤を命す

從七位 古城

任總督府道醫院醫官（五等）

忠南公州慈惠醫院在勤を命す

鴨江水電消息

東拓系の鴨綠江水力電氣株式會社は關係部局の裁決終り總督及び政務總監の決裁を受くるのみとなり居れるに付其許可も月內ならん

興鐵の首腦

二月二日創立總會を開くべき資本金五百萬圓の朝鮮興業鐵道株式會社の社長は尙ほ未定なれど經營の首腦は原勝一津田鍛雄の兩氏なるべしと

商銀分配案

三十日開會の朝鮮商銀分配案は左の如し

一金八萬六千九十三圓六十二錢　全期純益金

一金一萬五千六百四十七圓二十錢　前期繰越金

合計金十萬一千七百四十圓八十三錢

一金三萬五千圓　諸積立金

一金五萬一千六百三十四圓五十錢　株主配當金

一金四千三百圓　重役賞與金

一金一萬六千八百十四圓三十一錢　後期繰越金

定例局部長會議

十三日午前十時より總督府第一會議室に於て定例局部長會議を開き齋藤總督を始め各局部長並に所屬官署長參集し諸般政務に就き審議する處ありたり

人事消息

▲吉川賢明氏（釜山稅關事務官）十二日夜入城滯在中

▲佐藤七太郎氏（殖北第一部長）同上

▲昇岡保作氏（工學博士）十三日朝浪城

▲千坂智次郎氏（海軍中將）十三日夜退城

▲野口次郎三氏（總督府畜產技師）本月六日南鮮地方へ出張中の所十三日朝歸城

▲津田鍛雄氏（實業家）不日雷雨旅行中の所十二日朝歸城

▲原勝一氏（實業家）同上

▲吉田英三郎氏（東拓支配人）同上

▲神村正武氏（軍參謀長）十四日朝京城に出張

▲早川鐵冶氏（軍參謀部長）十四日朝五位に陞叙さる

▲小寺外二郎氏（步七九中佐）十四日朝州及礪州地方に出張

▲中島越之助氏（醫專教諭）十四日朝歸省中の處夫人同伴十三日平壤へ

▲平澤中佐（工兵隊副官）十四日朝西鮮地方へ

▲細井肇氏（前鮮新聞主筆）十二日朝北鮮より咸興へ來月中旬東京

▲佐野彥藏氏（實業家）十三日夜三浪驛へ

▲櫻井小一氏（殖銀理事）所要の爲め豫定前內地へ出張したる三島頭取と打合せのため出張中の處十二日發東上

▲久保要藏氏（滿鐵京管局長）十三日朝釜山土陸十時發にて北行歸任（釜山特電）

東亞日報發起會

東亞日報社にては十四日午後三時本社明月館支店に於て發起人會を開催し諸般の協議をなすべしと以て許可の指令ありたる朴泳孝、李相協氏名義たる東亞日報

寸鐵

チャーチル君は露國を[illegible]欧洲に[illegible]進出す[illegible]

は重大なる形勢起るべし、吾人は慎重なる態度を持し、獨逸に對し過度の壓迫を加ふ可からざる▲逆ねぢ的に出掛けて居た獨逸が愈々十日に署名して[illegible]

る▲正裏面のいきさつは兎に角として之でヤア全一年が[illegible]

の態度もヤツと解決した譯だヤレ〳〵▲歐洲大戰の始末は何うなるでも好からうが西伯利は何うなる▲睨み合と紛糾のごつた反しさで此先果して何うなる事やらでも米國が自ら協調を破つて[illegible]

▲まあ其う云はずに米國の立場も察してやり給へ、まさか日本も出來まいから傍觀しつゝ他國の增兵に[illegible]も出來ず至つて下手な業を目前に控へて下手な業も用來ず其處が米國として苦心の存する所だらうよ▲今日の[illegible]

やるから女と爺のテナ調子で[illegible]何やこや〳〵と返答を促すの[illegible]幕の骨頂是が女だつたら一つ鼾聲をお利かせなさいなと云ふ處▲今日本が協調主義に[illegible]立て凡ゆる情誼を盡した上米國に義理立てして心中を迫る必要もなければ振られた[illegible]

調▲主義はサッサと思ひ切るよりも越したことはない▲變な眼付をして[illegible]ていゆーうなんて腕の下から流し目時に妙な聲など出して居た日にや何處で其れは即ち養甲斐と申すもの▲流行性感冒は朝鮮では大分

よ▲してやられた後で慨然した先生が[illegible]一本棒にせられて仕舞つた下火になつたが內地では又荒れて居る▲矢張風の吹き廻しだらうが是がほんこの世界同風▲際り目出度も納まり申さぬ

勅首相襲擊さる

勅テ和內閣辭職

ウ氏奮闘翼賛

○妙心寺新年會

妙心寺にては十一日午後六時長老[illegible]

會期中なり會期は來る二月廿三日より廿八日迄會場光山館にて

(澁谷殖銀支店長)組合經營の概要(井上道書記)未定

天然痘 七日府內光熙町一丁目七三番地清水川重信

自轉車泥棒 南山面銅岩里四百九十五番地張洪植(三)は十二月二十八日歩く中本町署の手に逮捕され九日檢事局に送らる

鐵工の慘死 里七四番地金豐鎭(二)は中村組鐵工部に雇はれ鐵工職に從事し十七日の日曜を期し大々的に

轢死 十一日午後三時頃湖南線驛に於て奉天發釜山間急行列車に

營口通信
▲消防出初式 毎年四月に行は

國境の事業界(安東縣)
(上) 大正九年に於ける觀測

昨大正八年度に於る安東縣新義州に於ける事業界は空前の活氣を呈し新會社の創立せらるゝもの頗る多く且銀行會社の增資又は合併整理せられたるもの殆ど二千指を屈せらる、盛なりしは世人の熟知する處あり然るに新年を迎へたる大正九年度に入りては如何なる活躍を呈すべきやも亦頗る興味ある研究問題と謂ふを得べし先づ之を安東縣方面より數へんか既設會社にして新春より製品を市に送らんとするものにありては滿洲燐寸藥株式會社あり舊臘中既に各般の準備を整へ操業に着手したる筈なれば一月中には早くも黑色鑛山藥、甲號硝安爆藥、狩獵用火藥の販賣をなすべく

既に朝鮮方面に

於ては三井物產を代理店として其賣出しの準備整へられたるが如し次に數年前より工場の設備機械器具の据付及び試運轉等の準備を完備したりと傳へらるゝ安東縣洋行の絹毛紡績工場も近く活躍の道程に上るべきかと傳へらる同工場は數年間に亘り事業を開始する如く開始せざるが如く其去就に就て多少世間をして疑惑の眼を以て見られつゝあるも倉庫業の一切を擧げて大連汽船株式會社に讓り渡し其の經營不足を補足して同工場の活躍に全力を盡さんとするの希望の由なれば

今春に到りては

更に一段の進展を見るならんか又昨年秋以來工場の基礎工事及び事務室宿舍等の建設を急ぎたる資本金五百萬圓の鴨綠江製紙株式會社も新年匆々事務所を六道溝に移轉せしめ解氷と同時に工場の建設に着手せらるべし同社の工場は規模頗る宏大なるものなるを以て本期年中に製品を市場に送り得るや否やは不明なるも同社幹部の胸中には既に

勝算歷々たるもの

あるべし製材會社中にありても個人經營を株式會社に引直し又は合資會社を增資株式會社と引直したるもの頗る多く安東挽材株式會社の如きは新年匆々百萬圓の資本金を揚げて大に活躍すべく滿洲製材公司の如きも其代表者を變更し舊臘中より新に工場の建築を終りたれば更に一新紀元を劃したるものと見るを得べし又資本金五十萬圓を以て昨年中創立せられたる大連木材株式會社は昨年末安東縣に出張員を派遣し置きたる位なりしも時代の進運は姑息の手段を以て滿足を買ひ得られざるを以て今般更に資本金を

三百萬圓に增加

し安東縣の唐津材木店及び其の製材工場新義州の淺見製材工場を三十五萬圓に買收して一大發展を計らんとの計畫成り近く其の實現を見るに到るべし此の他記者の聞く處によれば資本金四十萬圓の鴨綠江造船株式會社の事業が戰後海運界の不振其他に禍せられて兎角不振の狀態にあるに鑑み某々有力者は更に資本金百萬圓を以て新に鴨綠江木材造船株式會社を創立し鴨綠江造船を買收して事業上に

一新紀元を拓か

んとするの議あり又營口方面の某々有力者は資本金五十萬圓乃至百萬圓を以て安東縣に東洋木材株式會社を創立し主として東亞煙草の包裝材料を供給する製函工場を創立せんとの議あるが如し又銀行界にありては現在の資本金一百四十萬圓の滿洲商業銀行は舊臘中重役會議に於て一千萬圓增資の議を決し本月十九日の株主總會に於て之を確定議決せんとする事に決定し鮮人有力者は日本人及支那人と共合し資本金百萬圓の株式會社協成銀行の

創立計畫に進展

しつゝあり安東銀行又各地に支店出張所を開設するに急にして昨年三百萬圓に增資したるに拘らず本年中更に第二回の增資を斷行せんとするの意嚮ありと傳ふるものあり

長春の建築界
職工勞銀暴騰

一昨年の建築材料の暴騰は工事界に多大の打擊を與へ中には材料の先安を見越して一時工事を延期し翌年に廻せしものもありしが昨年は猶一層昂騰し一昨年に比すれば三四割乃至五割以上の高値を告げ工賃亦數割の增率を要する事となりしにも拘らず昨年の建築界は頗る多忙を極め一時は材料及び職人に不足を感じたる程なり這は一昨年着手を延ばしたる者が其の必要に迫られたると材料其他が到底先安の見込なきは勿論猶

漸次上値となる

模樣あるより躊躇しゐたる者も遽に工事を急ぎたると滿鐵の諸工事が亦甚だ多かりし結果なるが請負業者は所く建築界繁忙なりし爲め豫算に非常の狂ひを生じ其多くは損失を釀さゞるも何等利する處なかりしとの事なり本年の見込みとしては經費其他の關係上滿鐵側の工事に多少減少を來すやも計られざるが總體に於ては昨年と大差なかるべき模樣なるも

諸材料は猶昂騰

すべき見込みにて煉瓦の如き一昨年一錢二三厘を唱へ居たる日本型赤煉瓦が昨年は一錢六七厘より遂に二錢二三厘に迄昂騰したるが本年は更に支那型にて同價格となるべき氣配あれば日本型にては僅に二錢五六厘位にも唱ふるに至るべく木材亦現今赤松一側六七十錢を呼び居るも本年は猶相當の高値を來し其他一般的の昂騰は免れざるべく工賃に就ては昨年は支那人大工の賃金二圓、日本人大工四五圓左官は六七圓迄上りたるも手不足を告げたるが本年も或は尚多少の騰率と手不足を感ずるに至るやも知れずといふ(長春)

紐育より(一)
井上致也

◎(前略)十箇月の旅行期間に到して稍久しく加奈陀に閑居致候小生も去る十一月一日人口七百萬を有する、高架線地下線、地上線を有する、グランドセントラルペンシルバニヤステーションを有する五十九階にして世界第二の建物と稱せられ此所に執務せるもの一萬七千人日々出入する員數十萬人を越ゆると稱せらるゝウールウオルスビルデイングを有する、出演俳優三百人五千五百有餘人の人を容るゝヒツポドロームを有する紐育の人と相成候

◎巨象に喰ひ付きたる虱の如く何が何やら皆目分り申さず候、米國人と云ふものは誠に不思議な國民にて唯無暗と大袈裟な突飛な事をして悦ぶ國民に有之候、芝居一つにした所が別に技藝の堪能を賞美するでもなければ、情趣を味ふ譯でもなく唯突飛な途轍もない吃驚する樣な事をして見物を悦ばし居候、電車がストライキをやる、石炭がやる、砂糖がやる、仕舞に洗濯屋迄がストライキで物價は日々に騰る許り小生等以來にても最も緊切の關係ある家代と宿料との値上には痛切に徹へ候、下宿の家代さへ一日約三弗六圓に候、コンナ高い所にて一體米國人はどうして暮して行くのか之も不思議の事に御座候

◎當地の日本人に對する氣受けは一概にも申上難く候へ共概して宜しく却つて加奈陀に於けるよりも氣持ちよく感じ申候、唯自分にとり最も關係の深きニユーヨクセントラル鐵道會社は案外頗る冷淡にてお話に相成り不申之れのみ遺憾に存候、併し無理からぬ點も有之忙しい中に無闇と日本人が澤山押掛け同じ樣な事を何人も何人も不充分な言葉で質問に及ぶので先方も餘程迷惑に思ひ居候樣子にて日本政府に對し將來一事一人と云ふ事に要求するとか云ふ事が新聞に有之候由尤も次第に存候滿鐵等も一時に大勢派遣したため殊に此點に關し調査不利益不便を感じたる事有之候ドウニカ獨り歩が出來る樣になるには殊に自分の樣な鈍才なるものには約三週間かゝり申候其上少しく氣入りの風邪を引込み一週間餘り病床の人となつたので殆んどお話し申上ぐる程の材料も無之候約束履行出來ざる點は幾重にも御勘辨願度候。

新年安東市況
活氣に充つ

新正を迎へたる安東縣市場の擧況は輸出入貿易界を見るに昨年末に於て百兩對金二百七十圓見當まで下押したる銀相場は一月に入り日に上伸し再び三百圓を突破し初旬末に於ては三百十八圓を唱ふるに至りたるを以て輸入品たる綿絲布及び雜貨類は買氣を促進し又輸出品の大宗たる豆粕、豆油、柞蠶業等は一時採算不利に陷りたるも旬末の市況は內地及び大連方面の一齊高に刺戟せられ銀高依然たるに拘らず輸出品を續々手合せ出來し殊に柞蠶絲の如きは正月匆々擡頭し千斤當り三千六百八十圓を唱ふるに至りたるを以て一時買ひ控へられたる柞蠶絲は再び買氣を煽り正月に入ると同時に一梱千七百圓見當を以て約二百梱時價三十五萬圓の手合せを見るに至れり豆粕は內地筋續々好人氣にて逐日上伸し神戶着五圓見當まで續々買進まれ豆油も新正月に入ると同時に百斤に付二圓五十錢方上伸し久しく沈靜せる安東縣の特產物市場も茲に活躍の曙光を認められたり猶舊年末に於ける支那人側の金融狀態は一般に逼迫勝ちなるを以て舊年末中引續き好況を持續するや否やは不明なるも目下の景氣より見る時は引續き輸出入品共相當の商談行はるべき見込みなり(安東縣)

舊正年關樂觀
漢城銀行支配人　韓翼教氏

昨年下半期に至り資金の需要は激增し金融界も可成に緊張を示し殊に歲末に際しては金融逼迫の程度も一段甚だしからんとの觀測行はれたるにも拘らず一般商取引上には格別の異狀もなく無事越年したるは誠に喜ぶべき現象なり由來鮮人商取引は多年の商慣習上其取引の對手が內地人たると支那人たるを問はず一般に陽曆の正月に際しては鮮商側支拂期となり居れるが之と反對に舊曆の正月は鮮人側受け取勘定期となり居る傾向あるを以て來るべき舊正に際しても鮮商側の取引き決濟は何ぞ故障なく無事經過するならんと豫想さる然し乍ら此豫想は勿論一般取引きに就き充分信用を重んずる事を前提としての豫想なるを以て先物取引に對する過度の思惑買や信用を濫用するが如きは各自深く戒めざる可らざる事と信ず

大阪財界便り
新春金融市場

年末決濟資金は意外の需要額に達し實に三十日の如きは一億三千萬圓を突破し空前の現象を呈したるが其の影響を受けたる六日の金融市場は依然手堅く殊に六日の日本銀行支拂資金の都合もあり旁引緩みの模樣も見えずコール無條件二錢三四厘を唱ね居るも實際氣配分明ならず本日交換後の模樣如何によりて更に昂騰の氣配あり容易に樂觀を許さゞるもの、如し

對支貿易近狀

福州事件を動機として再發せし日貨排斥は本邦製莫大小其他日用品雜貨は必要に迫られて輸出せられ一方輸入は最近銀塊昂騰のため商談捗々しからざるも何等の支障なきが唯近來排日を煽動するものは一種の職業となりて金儲けのため兎角の運動を試み居れる狀態なれば到底急速に鎭靜せずして漫然的に當分は現狀を繼續するならんと豫想され爲に目下合辦事業中支障あるもの勘からずして經營困難なるものは全部支那商に經營を讓り渡すもの續出したるが排日貨は支那に於ける自給の必要上化粧品其他の小製造工場は頗る勃興せりと

煙草買占取締

昨今煙草價上の風說により市中に於ける小賣業者は一切に賣切を標榜して賣出さゞるより專賣支局は遽に狼狽し元賣捌を召集して懇談する所あり更に局員は各小賣店に就き其不心得を諭し尙今如上の行爲に出づるものあらば相當の處分を爲すべき旨を以て極力買占め賣惜みに對し防衛策を施しつゝある由なるが十二月末に於て市內需要に應ぜんが爲め豫め一日より三日迄の分として元賣捌へ渡し市內四元賣捌は一日平均朝日敷島共三十五個(千個入)一百四十個宛一日二百八十個の割合にて配達し居れる由にて全く不足を告ぐべき理由なく六日は先づ其應急策として敷島二百個朝日七十五個を出したれば絕對に不足を見る事なかるべしと尙ほ今後再び斯の如き行動に出づるものあらば販賣權を剝奪すべしと(大阪)

赤十字社聯盟總會出席委員

瑞西國ゼネバに於て本年二月二十九日より赤十字社聯盟理事會及び三月二日より同聯盟總會開催に付日本赤十字社より副社長侯爵德川圀順外事顧問法學博士蜷川新兩氏を委員として該會に出席せしむべく委員一行は不日出發する由なり

權子爵邸弔問

愛國婦人會朝鮮本部評議員子爵權重顯夫人權厚氏逝去に付き大橋主幹は十日濱尾會長水野本部長の弔辭を携帶し弔意を表せり

懸賞川柳
劍花坊先生選

牛

○齊の牛尻尾を燒いて名が高し　龍山　死口
○牛殺し時々牛の夢を見る　光化門　凡哉
○又一ツ鳴いて種牛向きを變へ
牛娘松竹梅を足でかき
○コマ切を辨當箱へ買つて來る　龍山　左衛門
○牛に曳かれて朝鮮迄來たり
讃美歌を歌つて通る乳配り　永登浦　鶯園子
本枯へ牛を追込む○○の唄

演藝案內

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞會社代理店
當る七日より新春第二次特別大興行
○實寫『烏賊漁の實況』長尺
○ニコ〳〵喜劇『間拔け男』長尺
○ニコ〳〵喜劇『新調の屏風』長尺
米國エデイソン會社傑作 人情劇『緣の木』全三千呎 原名 損せし樹木
又た出た!天下の珍品
○日本一の大目玉尾上松之助と中村扇太郎の兩優が寶ろ姿の彌次喜多江戶生粹のキビ〳〵した新內劇
▲續篇、彌次喜多
東海道膝栗毛 全八卷
△化猫退治の大手柄△生き地藏の正體は△荷物を持たず狐△神樂の手に
每月一日十五日日曜祭日晝夜開館

喜樂館 本町一丁目 電話九七番 館主
◎當る正月七日より引續き特別大興行 先週連日滿員の好評
喜劇『悲慣な家具』
教育の好資料英國海軍省撮影 實寫 時の海と空 全二千呎
米國ワスキー會社特別作品 人情劇 眞夜中 全五卷
日活京都派新特作品 佐野鹿十郎 全六卷

空前の大好評 連夜滿員に付 彌次喜多 今十四日迄日延へ仕候 **大正館**

浪花館 京城明治町 電話二六〇
當る一月元旦より(正午後六時開場)京阪大合同落語大演藝會

黃金館 京城黃金町 電話二六三七
天然色活動寫眞株式會社京城釜山一手特約代理店
京阪合併大歌舞伎 中村吉十郎一行
當る十三日替り狂言
▲前 鏡山古鄕錦
▲切 源平布引瀧
每日正午四時開演

當座小切手紛失公告
一金額 金八百四円也
一番號 ろ〇四一六八號
一振出日 大正八年十二月十五日
一振出人 慶尙北道金泉郡金泉面本町 崔成容
一渡先 高重熙
右小切手紛失屆出有之候間爾今無効トス
大正九年一月十一日
株式會社朝鮮殖產銀行 金泉支店

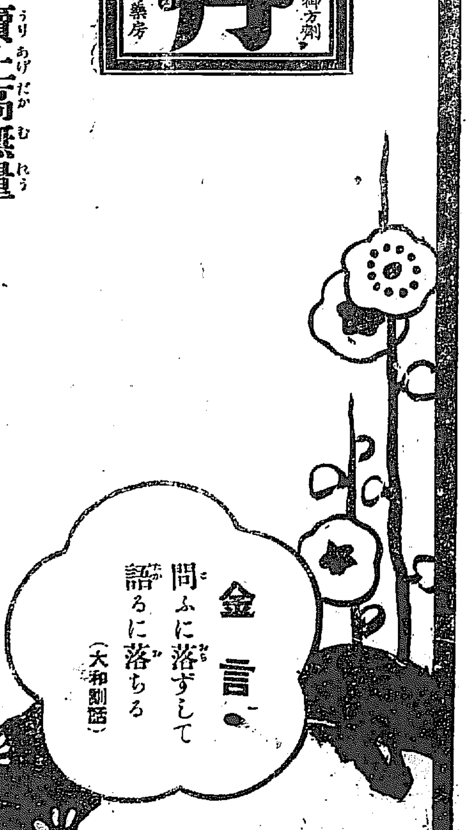
謹賀新年
兼二浦精米株式會社
創立事務所

◎他に未だ類のない自宅最新事業
意外 有利事業
資本同樣誰でも金儲は樂に出來る國家的發見
方獨占權ある發明新事業を公開す從來のイカサマ驗業とは全然異なる何人にても收入多大なる就業せしむ詳細ハガキで申込めば直ちに通知す
▲東京府幡ヶ谷町 岸上商會

猿馬印
かゆみ いたみ たゞれには
定價 十錢 廿錢 卅錢
本舖 東京日本橋上槇町 安川晃榮堂

料理店開業
謹啓各位益々御淸榮の段奉慶賀候陳者弊店儀從來飲食店經營中は一方ならぬ御愛顧を蒙り候段厚く御禮申上候今般其の筋に第一種料理店開業の出願致し居り候處本日御許可の命に接し申候得は今後とも精々勉强御贔負に願ひ度き事と存じ候間何卒舊に倍し御愛顧御引立の程偏に御願ひ申上候 敬具
京城本町五丁目
會席料理 權平庵
電話二一三七番

イケダ小兒內科病院
池田季雄
京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目 電話(病院二三四番 自宅三〇〇番)

仁丹昨年一ケ年の賣上高無量
五百万圓を超過す
これ原藥の精選せると藥効絕大なる故なり


國境横斷旅行（九一）

鴨緑江を下りつゝ

伊藤韓堂

排日學校聯合會催され　不穏行爲八個條の議決
井戸に毒藥投下説傳はる
日本人は酒や菓に毒藥を仕込んで鮮人を鏖殺する計畫があるとの噂

中江鎮にて　特派員　伊藤韓堂

又三道溝には大成中學校といふ學校があつて不良分子の巣窟と爲めて居る。昨年六月四日より七日間同校に於て同地を中心とする各地の

排日學校聯合

會を開催したが參加したる學校三十六、生徒三百餘名に達したさうである。又李鍾、李元鎮の發起で六月十日から同地に於て引續き有志者會を開催し出席人員二十二名を以て（一）自國精神を鼓揮すること（二）在南滿洲朝鮮人組合（領事館等我が官署にて組織せしめつゝあるもの）を打破すること（三）一般移住鮮人より一元五角（我が一圓五十錢）を徴收して五連發及び

彈藥類を購入

するの件（四）支那官憲に交渉し支那に歸化すること（五）加害の件（其員の解し難きも其の意の在る所は略察するを得べし）（六）通化日本領事館打破の件（七）某所鬼子を打破すべき冒險團を決死隊中に加ふるの件（八）有事の時は一歩も退歩せざる事若し退歩したる者は日本に對する

內通者と見做

し鬼子同様の處分を爲し殺害すること等を決議したのである。又同じ柳河縣の大石溝には小規模乍ら國體石扶會（石扶會自信會を合同したるもの）といふのがあり獨立月報と稱する月二回發行雜誌を發刊してをるさうである。是等の團體の本據地たる柳河縣から一番近い處が此の帽兒山であり且つ交通の要路に當つてをるので不穏分子の來往劇しく隨つて誇大の噂は此の地から更に誇大にされて行くのである。今春南支那方面に於いて

排日貨騷ぎ起

るや無二の好機となし鮮人支那人合同して暗々裡に煽動するものあり何處からともなく日本人は中江鎮の井戸に毒藥を投下して鮮人を鏖殺するの計畫あり井水を飲むなかれなどの噂が高かつたさうである。毎初夜に成ると鮮人が井戸に蓋をし鑰をかけるので衛生思想が俄に進んで夜露の浸入を防ぎ

塵芥の投入を

避くる爲めに蓋をするのだらう……位に思つて居つたさうであるが、事實は然らず斯の如き裏面に潜める風評の爲め蓋をしつゝあつたのであるさうな。毒藥投下説は全く爲めにする者の詐言であることが知れ渡つて何んだ馬鹿々々しいと與痴を来す様になると又何處からともなく東亞煙草會社で製造した日本の莨には毒が仕込んであると云ふ噂が立ち鮮人は態々帽兒山まで煙草買に出掛け、渡を渡つて來る者は何れも數十個づゝ

支那煙草を買

ふて來るやうになつたさうである。此莨有毒説も詐言であることの分かつた頃から又日本酒に毒藥投下説が傳はり一時日本酒の賣行きに多少の影響を與へたさうである。幽靈の正體見たり枯尾花さやらで正體が解つて見れば何でもないもの、比較的知識の幼稚なる此方面の住民は枯尾花の正體を見屆くる迄は惑はされてゐるのである。騒擾以來にも種々の噂が生み曾て中江鎮の鮮人は一時逃げ出して

烏首穂の後方

二三里ある方面まで避難したことがあつたさうである九月の二十七八日頃にも支那側頭道溝と三道溝に各四百名許りの獨立軍が進出したとの説があつて一時動揺したが當局の慰撫により漸く事なきを得たさうだ。

本社主催　全鮮歌留多大會

一、時日　大正九年一月十八日午前九時より
一、場所　南山町梅の家
一、出場者　一流、二流とし各別に競技し全然混合を避さず
一、會費　各流共金一圓、中食を呈す
一、入賞　一流　一等より十五等迄　二流　一等より十等迄
其他　婦人選手の出場を希望し又婦人觀覽席を設くべきに付多數參觀を希望す

申歳の坊ちやん　宇都宮德馬君

德馬君（十三）は宇都宮將軍の次男で學習科六年生であるが東京から來た許りであるから近く龍山小學校に轉校する將軍に似て丸々と肥つた可愛い坊ちやん。馬が大好きで毎朝將軍が出勤の前を、將軍の愛馬に乗つて稽古をし厭はず『オーサ〳〵』と云つては官邸内を乗り廻してゐる馬上の姿勢も中々良い、兄さんの鶴彦さんは近く幼年學校に入り軍籍に身をおいて將軍の後を襲ぐさうだが德馬君は未だ志望が明かにしない兄妹の仲は至つて睦まじい

新家庭
家相に就て　古い説　新らしい説

『光線の來ぬ所に醫者が來る』と云ふ西洋の諺があるが日當りの良否は衛生上

第一の條件

である日光は直接人體に作用して皮膚を丈夫にし神經を刺戟し血液の循環をよくし又肺病、チブス、コレラ、ペスト等の黴菌も五六時間日光に曝されると死滅すると云ふ寢具肌著の類は一週二度でも三度でも

日光に當る

が宜しい故に東南面に成るべく多く窓を作るか開きにするが上々、但し西日は餘り感心しない家内に起る吉凶禍福は一々家に關するものだとかつぐ年寄が尠くない例へば玄關は床の間のごの方向がよく之れを犯せば祟りを受けるとか

家の方向は

東南なれば福が來る未申西南なれば禍が起ると云ふ東北に井戸、泉水便所があれば憂愁が絶へずと云ふ此處の入口は五尺なるべく六尺にしては悪い其他種々の事をいふけれ共之は西洋にはない事で唐土の道家の言ひ出した説が

何時の間に

か我國に傳はつて弱い人の間に妄信される樣になつたのである家相の中には今日の科學から見て幾分か眞理を認め得るものがないでもない例へば東北に位する室の如きは年中日光を見ず從つて濕氣多くして宜しくない又西向きの臺所には

夕日が射し

込み働き難く食物等も腐り易い便所も西間にあれば醗酵し易く從つて臭氣も亦甚だしいから忌む敷地の都合上止むを得なければ樹でも植て夕日を防ぐが宜しい兎に角家相説の或るものは如何にも理があるのが

迷信的にと

らはれるから悪い要するに家相と云ふ文字を棄てたくないなれば宜しく古き家相説を棄て新らしき家相説を採る方が宜しい其家相説とは何ぞや曰く、通風、採光、暖房、給水、排水、湯殿、臺所、便所等の

設備に申分

なく凡て科學的で衛生的で實用向きなるべきは勿論　加之　家族本位でなければならぬ

凝視せよ　現代の家庭
賃金は二倍　物價は三倍

『斯んなかまぼこ……』と奥さんは食指の第一の節を拇指でおさへて瞎を次いだ『二つに截切つて五つ六つ添て……』其れが一皿で五十錢、燒き魚、鰺、……五十錢の献立である一皿ザット一圓だ……前菜のことは能く判りません……全くさうだ米が一圓に一升七合小松菜が一把十五錢酒が一合四十錢モスリンは木綿巾で四十四錢大巾なれば八十八錢だらう子供の赤い足袋が四十錢もする一寸主人が靴下一足と云つても一圓八十錢はする此の先如何なるであらうか俸給は二倍になつて物價は三倍だ主人は一向無頓着で御座る内儀さんは中々物々高値なのに呆れてゐる婦人から默して居られぬ今日である世間を知りたければ現代の家庭から凝視して生活問題、社會問題、政治問題が婦人の叫びから問題になるやうでは最う遅い

主婦の手帳から

△烏賊の吸物△　烏賊の皮を剝き其片面に縦横に庖丁目を入れて一寸角に切り熱湯に鹽を加へた中で茹で、から掬ひ出し椀に入れ側に茹でた三ッ葉を添へ次に煮出汁に醤油少量と鹽を加へて味を附け鍋で熱してから右の椀に注ぎ入れます△鱒の味噌和へ△　臨出した鱒を鍋に入れて茹でます別に味噌と味醂とを混ぜて火の上で練つた物で右の鱒を和へて喰べます△蟹の吸物△蟹を茹で身を出しバラ〳〵にして椀に入れ側らに椎茸を下煮して加へ茹でた三つ葉を添へ次に煮出汁を煮立て其に醤油を滴し食鹽を入て味を附け椀に入れます△蕪菁燒△　里芋は皮のまゝ茹で、皮を剝き小口から二分位の厚さに切り、人參は短冊形に切つて茹で、玉葱は適宜に切つて水洗ひして水をきり魚肉は荒く發の目形に切つて鹽を撒り置く鍋に水を一人一合宛の割合で入れて一度煮立てて、材料を入れて沸として立上る澤を掬ひ取り醤油と鹽とにがし粉の水溶を加へて椀に盛入れ更に胡椒をふりかけます

車夫の喧嘩

市内西小門町八十七番地車夫奉碩龍（二七）は蜂暇に一日本町二丁目京城組人力車駐車場に休憩中明治町一丁目七十八番地車夫朴三乘が他車に乗り京城組前にて下車したるが賃金の事より車夫と口論を始め途に相方格鬪するに至れりこの樣を見たる奉は双方の搭籍を中に放さんとしたるに反つて兩名は奉に喰つて掛りたれば奉は酒氣に乗じ何ぞと云ひ兩名を毆打負傷せしめたり此處にて兩名は格鬪中止して本町署に訴へ出たれば同署にても捨置く事もならず奉を引致取調べ中なりしが檢事局に送られたり

二次會

一年中の總成績が發表になるのも最う間もないので中券しな家の若旦那、で一中券の人氣は五等迄ですもの私物が悲觀ですは切めて十等までなら私にだつて脈があるのだが五等迄ちやね……だから私物ダツ觀して諦めて居るの……それにしてもダツ觀さて居るのですかそれが何へて見ると道頓の事が多いかと云ふのは何んの事かと見ると八兵衛は鶴が花王石鹸の廣告に似て居ると云ふ事らしい△いや虜の八兵衛は鶴がで知られて居る愛嬌者、先頃さる人の出迎に南大門驛に出掛けて待合室でソアー〳〵と立つたり居たりして居るうちに何うした拍子か側に居たご人連れの西洋婦人の足をイヤと云ふ程踏みつけて了い『御免やす、態と無アでおまへんから勘忍しておくれやす』と謝罪つたのは宜いが、何とお客樣が座敷でタッイなく激して呉れるのと同じ様に宥め立てせぬからと思つたからで其つたれた調子で詫びると、火の樣になつた西洋婦人ペラ〳〵〳〵と何か知ら解らぬ言葉で喋りたてて怒りつけるので八兵衛自分が悪いのは千萬承知、甘つたるい大阪辯であやまるが夫れは先方へは通ぜず西洋人は尚更いきり立つ、暫時らくは分らぬ言葉のかけあひに見物は周囲を取卷く逃げるには逃げられず有慶の茶目者青菜に鹽と悄れ返つたとか

紅茶のあと

宿命を甘受する者は偉人だ運命を策する奴は愚にあらずんば狂だ凡ての留守に命の洗濯ばかりして牧畜の洗濯もしない、女房は謗ならかなだ、更に心の洗濯を知らない者は恐るべきかなだ

○

智識としての信仰、學問としての道義は道徳と舞辭と詐欺の具に過ぎない、信仰とは體現であり道義とは實行である、卵の殷殻は風が吹けば飛んで行く

○

洒落と皮肉の解らない男位氣の毒なものはない、洒落の意味を訊かれる位氣抜けのするものはない、皮肉を好意に解される位くすぐつたいものはない

樹木に死骸

「殺せられ居る」人の鮮人あ……

强盗檢擧　平安南道内各……

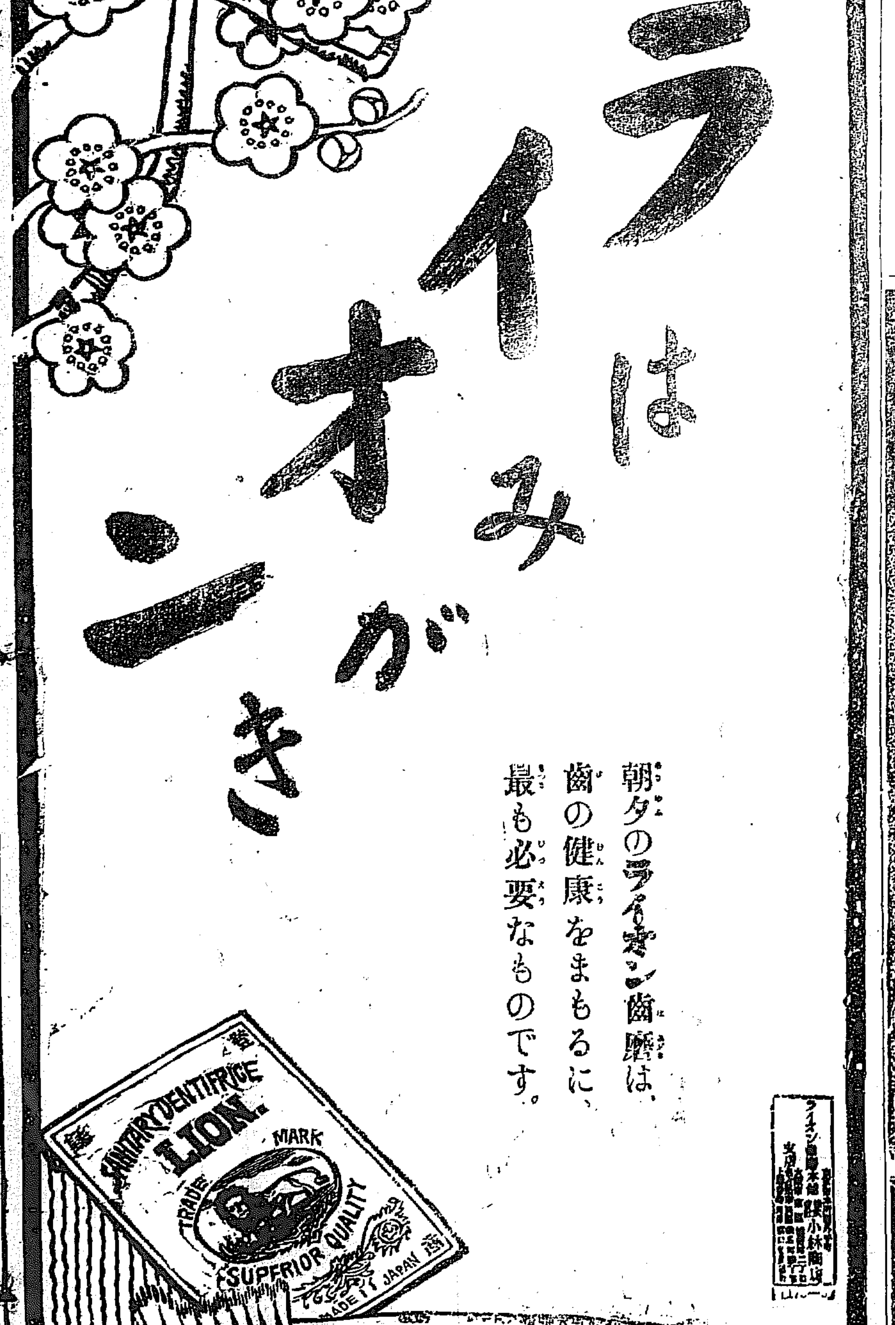
……外國名が客年三十一日夜……如し……れ中事務室より前田善次の所有……破に入込み前記の場所にて菓子……櫻井町二丁目百五十九番地金龜……れば十二日檢事局に送る

……黒の野猫

……員は連日連夜商府の働きにて……之を監督したり

天氣　北西風　少雪後晴

日出　午前七時四十八分　日入　後五時三十六分



痔疾專門
京城久枝肛門病院
京城明治町二丁目（本町より入る中央）
電話一一〇二番

たんせきで困る人はぜひこの藥をのんで御覧
どんな重いたんせきでもきつと治ります
又藥ぎらいな小供でも甘い水藥ですから喜んでのみます

甘味の水藥　鎮咳液
定價　二日分金參拾錢・五日分金五拾錢　八日分金八拾錢・十五日分金壹圓廿錢
どこの藥店でも販賣して居ります
發賣元　大阪市北區相生町　大島登盛堂藥局
電話京四五七七番　振替大阪五一貳七番

資本金　貳千貳百七拾萬圓
積立金　壹千六百貳拾萬圓
總預金　參億五千萬圓
株式會社第一銀行京城支店
頭取　佐々木勇之助
支配人　竹村利三郎

大阪佐藤の　西瓜糖
じんぞう炎と淋病消渇で苦しむ方は
時代の要求に應じ新發見に係る本劑を服薬し早く病苦を脱せられんことを
◎定價　小壹圓、中貳圓、大參圓、徳用五圓、拾圓、小包料十八錢
注意　近時同名粗悪品を抑賣する奸商あり之れ等は一種の有害となる恐れがあるから御買求めの節は必ず大阪佐藤の西瓜糖と御指名被遊度
本舗　大阪市東區瓦町三丁目　佐藤ライト商會　振替大阪二六一四八番
◎本品は全國各藥店に販賣せり

笹山章著　ウツボヤ書店發行
新案獨學　イロハ辭典付
鮮語自在
定價金六十錢　ポケット形二百頁（送料貳錢）
上製クロース　定價金八十錢（送料四錢）
發賣元　京城日報社代理部　振替京城三〇〇番

TORYS
SPECIAL OLD SCOTCH WHISKY
トリスウ井スキー
言ひしれぬ快味！しかも余り多くの費と手とに依らずして求めんとする其價にトリスあり

息鎮夫儀釜山ニ於テ病氣療養中ノ處養生不相叶十二日午前七時死去致候ニ付此段生前辱知諸彦へ謹告仕候
追而葬儀ハ十四日午後二時釜山宅ニ於テ執行候
大正九年一月十三日
父　山口要策
兄　山口重雄
兄　山口諒男
親戚　中溝芳太郎
友人總代　柴四郎　芥川正　牧山耕藏　青柳綱太郎

天下の銘酒

發賣元
首藤京城支店
首藤釜山支店
首藤博多支店
博多取引所仲買人　首藤定商店

…去る八日平安南道江東郡萬達面…るに二人共むて强盗の所為なら…東西里路傍に縛されたる屍んこ云ふ…之が檢擧に十分盡力しつゝあり…しが出題に至り之等强盗犯人は…在所巡査の爲に逮捕せられ目下取調を受け居れるが其他にも尚數件の犯人を檢擧する等之が爲め地方は稍安堵し居れるもの…現に江西郡星巖面元塘里崔昌南…

馬賊頭目の氣焰 (5)

ハルピンを引揚げ奉天へ 奉天では非常に困窮した

健康を害して再び內地へ　併し連絡は取つて居た……

露國敵兵二人を銃殺して其銃器を掠奪し難なくハルピンに逃げ戻り、巧に北鉄の眼を晦まして居たがどうも仕事が巧く行かないだから仕方が無く其二梃の銃器を携へて今度は奉天に引越した。併し奉天でも之と云つて目星い仕事にも有つけなかつた。

窮した揚句

某日本人の家を便つて百圓貰ひ受けたりしたことがある。其年も亦身體が思はしく健康でなかつたので十月末には復內地に引揚げた。內地に歸つてもブラリ／＼と遊び暮らした。斯うして一年は過ぎた。勿論馬賊生活を思ひ切つたわけでもなかつたから、內地に居ても部下六名の者とは時折通信を交はして居たそこで

身體の健康

が回復するのを待つて直に出發することに決めて居た。出發の時下關の某料亭で一夜痛飲したことがあつたが其時お千代(變名)と云ふ藝妓が彼の相手になつて居た。彼は其藝妓が如何にも俠氣に富んで居るやうでもあるし又歡待方も巧いのでツイ調子に乘つて

『己れが何をしてゐる人間か當て見給へ……』

と切り出した。女はジグ／＼と

于君の顏を

叩めてニコ／＼笑ひ乍ら容易に返事をしなかつた。

『何故笑ふんだ!』彼は半ば詰問するやうな半ば戯談めいた口調を以て返事を促した。

『大陸見當がついてるわ、どう普通の人間じやないでせう、だつて眼付きが證明してるんですもの……』

と云つて相變らずニコ／＼して居た。斯うなつては行懸り上仕方がないから

自分は實は

馬賊をして居る人間だ、然し未だ日本を去らない中に斯んなことを喋舌つて貰つては困るこ打明けた。女はそれを聞くと

『ごうせそんなお方だらうと見當はつけて居りました。イ、エ私をお出發になるまでは決して他言は致しませんわ。そしてあなた何か護身用の武器は持つて居て……?』と聞き訊した。彼は日本でそんなものを持つて居

痛快な女、一口の短刀

痛飲した下宿の一夜

る必要もなし、又そんなものを持つてると却つて手掛りがついたりして不可ないから、今の處身體に何一つつけてないのだと答へた。すると女は

『それも御尤もですけど、何か持つて居なくては駄目だわ。折角私に打明けて頂いた以上私も何か贈り物を差上げますわ』と早速一口の短刀を買て來て記念の爲めだと云つて彼に贈つた。

『その時の短刀が即ちこれです

この短刀が

ごんな働きをしたかは後でお話致しますがね。何しろ面白い女でしたよ。今でも居ますか知らん。今度歸りに一度呼んで見ますかね』

于君相變らず口の邊に微笑を浮かべ乍ら炬燵の上の短刀を取り上げて內懷に納めた。

鍋島子令孃 運轉手と驅落す

令孃は學習院三年生 運轉手は美貌で女蕩し 横濱で押へらる

東京牛込區砂土原町子爵鍋島直虎氏の三女、女子學習院三年生

鐵子

（一七）は八日午後七時半東京驛發列車にて同子爵邸抱へ自動車運轉手多田某こ驅落ちしたるより其の取押へ方を同子爵家より各方面に打電し横濱驛にては兵頭驛長及び助役等は同列車が同日午後八時七分到着すると共に車內を取調べたるに

二等室內に

鍋島令孃こ前記運轉手こが乘込み居るを子爵家執事が發見し直ちに取押へ電車にて東京の本邸に伴れ歸れり。父直虎子爵は心配の餘り病床に在るが波多野宮相は十一日夜深更に至る迄親戚會議を開きつゝあり。家出の多田運轉手は芝區辰巳自動車商會池內金次郎方より

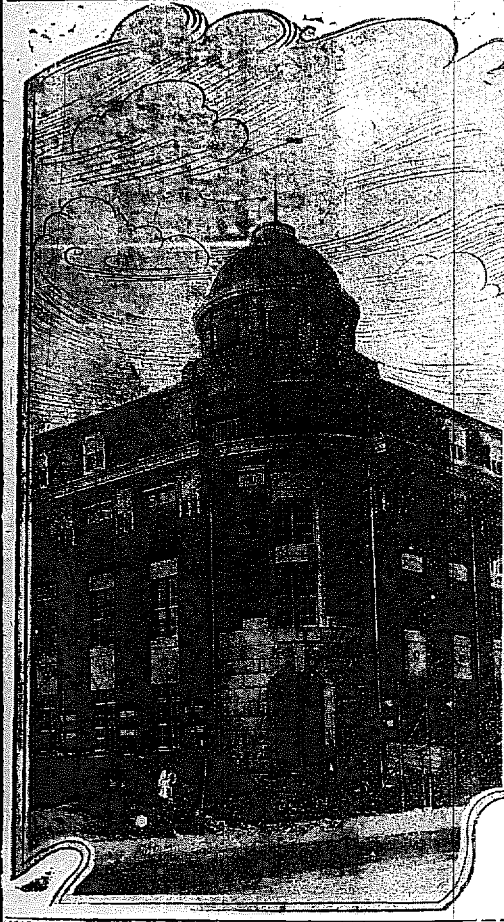
數年前周旋

せるものにて池內は數年前に鍋島家に四千圓の自動車を八千圓に賣込み爾來同家に出入し居たるも家庭の紊亂を來すが如き擧動ありたるより同家にては池內に對して出入を嚴重に差止めたるが其後同家抱への運轉手が暇を取りたる爲め池內運轉手の周旋にて雇入れたるものなりこ而して多田は

多田運轉手

か備ひ入人の知り合なる

れたるものなりこ而して多田は抑々の美貌にて女蕩しなるが表面は頗る謹直を裝ひ居りしこそて同家にては八日家出する迄何事も知らざりし由にて家出事件ありて初めて是れ迄の種々の擧動に思ひ當り取押へに向ひたるものなりこ(東京電報)



板圍ひが取れた京城公會堂

齋藤總督 昌德宮訪問

年賀の爲めに

齋藤總督は十二日午後三時夫人同伴守屋秘書官藤波通譯官を從へ自動車にて昌德宮を訪問し李王殿下王妃殿下に御對顏の上公式には非ざるも親しく年賀の御禮を申上げ三時四十分退宮鄕邸した右に就き守屋秘書は『何も仰々しい事ではありません三時自動車で御訪問申し上げ御假住なる樂善堂內の御座室にて李王王妃殿下に內謁御挨拶ながら年賀の御禮を述べ李王殿下よりは陛下を交へて王世子殿下の御事…怪よりは聖上皇后兩陛下の御機嫌を御知せ申上け更に四方山の御話に時を移さ約十五分間で退出別室にて茶菓の饗應あり兩殿下こも過般御微恙があつたこ承つたが現在は既に御機嫌麗しい御壯健の御模樣であつた兎も角新年に年賀を奉つた御禮の爲めです』

朝鮮としては珍らしい現象

暖いから雪が降る

日本海方面は大吹雪か

降雪豐年の說も一理ある

仁川平田觀測所長談

雪は日本の名物で朝鮮には到つて縁がないのを例とする處が本年は此の暖い朝鮮に屢々稀な降雪を見るのは何故であるか之を說明するに先づ本年の寒さが餘りに度に達しない即ち嚴寒特有の大陸の寒さが

永續しない

こ云ふ事が大に原因する本年の天候が斯の如くであるから一時寒氣が襲來しても直ぐに變化を生じ小低氣壓が時々に起る隨つて濕潤で比較的溫度の低い空氣が發生するので此の降雪を見るのである

今朝の雪の

如きは昨十一日晩に濟州島の西南方面に發生した低氣壓が山東に淺海なる低氣壓が發生し漸次東北に進むで十二日朝に至りて此の低氣壓を來たしたので雪を降らしたが十二日の晩には仁川の南部忠清南道附近に低氣壓が達した朝鮮に雪が降つたのはその爲めである而して此低氣壓の進行速度を以てすれば十二日は日本海に出で十三日晩は能登沖に達し更に十四日には東北又は北海道方面に達するから

日本海方面

は此低氣壓の爲に猛烈な吹雪だこ想像されるが出來るか雪は水の結晶である…多期大陸の空氣が頗る乾燥して居る爲に大陸及び朝鮮には北陸的に雪が降らないが此低氣壓が一日本海に突進すると漸次北に低氣壓は水分を含むで濃厚となり

北に進むに

從つて多くの吹雪を生ずる樣になる、北陸を中央として日本海一帶から北地方及び北海道、樺太、それから信飛高原等に雪が多いのは悉く此の渡端は朝鮮から巻つた低氣壓の進行に依ると云つて差支ない謂はば雪の日本の起りは大陸及び朝鮮に在る、雪の降るのは暖かいからで溫度が稍低下して降雪を見る事は

朝鮮特有の

多らしくなること却つて降雪を見る事は豐年の兆こ云ふが一般に傳說こ許りは云へないのである。積雪に依つて好く地溫を保ち得るが故に豐作物の春の發芽に多少の効果を奏す事は否定出來ないだらう雪に就ての研究は昔から澤山ある日本の雪の研究こして最も有名なものに天保年間に著はした

北越雪譜

があり文政の頃鈴木牧之…なごも出來て居る其の之等には雪の結晶の模樣即ち六方晶形に就て委しく述べてある…ベントレーの寫した雪の結晶に依ると其の種類は實に二百種に亘つて居るが草木の花の五瓣であるのに比して雪の悉く六瓣であるのに變りはない雪を六花と云ふのは其の結晶が必ず六出であるから斯ふのである(仁川)

怪しからぬ牧師の一團

國民會員以下十九名逮捕さる

全南光州鮮人牧師一件は國民會と稱し獨立思想宣傳を爲さんとせるもの不逞の行爲を爲さんとせしものにして全南崇一學校牧師崔興琮外十九名を逮捕(表)九日檢事局送りとなれり(光州特電)

馬賊追擊

活劇其儘 寬甸縣附近に大部隊襲撃す

一月二日午前零時頃七名の部下を率ゐたる氏名不詳の馬賊の一團は奉天省寬甸縣附近に現はれ各自短銃を携帶し同地の農家八戶を襲ひて多額の金品を掠奪し鳳凰城方面に向つて逃亡せり此の報に接したる同地附近の巡捕警官隊四十名は急遽逮捕に向へり(安東縣特電)

積雪五尺

元山の大吹雪 ＝列車被害多し＝

十二日朝來の大雪は京元線及咸鏡線に於て被害甚だしく殊に元山の如きは吹雪猛烈にして積雪五尺に達し午後六時四十五分發元行列車は二時間四十分延發し又同日午後七時頃文川驛に於ては南大門發咸鏡行列車は機關車の炭水欠乏し停車一時間を遲留し漸く約一時間餘れて到着し前途甚だ困難なるも安邊にて…南大門、元山間の列車の外通信…（安東縣特電）

護送の歸途 慘殺さる

…警察署鮮人巡査某は被害者は南京…護送途中の歸途十一日午後五時…何者かに慘殺されたる旨通報に接し…

江上の壯擧

想へ、行け、見よ!!!

體育協會の應援 奧田旅團長の審判

呼物は二十哩マラソン 奮起せよ運動兒

本社が主催したる漢江スケート大會の壯擧を發表するや結氷期に入つて眠つてるたやうな全鮮の運動界は遽に活氣を呈し緊張して來て各方面から深甚な賛意を表され或は賞品寄贈の申込や賞牌授與の申出は一二ではない。更に本社の欣幸こする所は朝鮮體育協會が此スケート大會の

有意義なる壯擧

に對し滿腔の熱誠を以て賛同し多大の聲援を爲すべく昨十三日午後本社に申出があり然もスケート大會優勝者の爲に協會新調の賞牌を寄贈することになつた第

四十旅團長奧田少將

は當日の審判委員長として親しく競技の指導と審判こに從はるゝ筈であるし競技出場者は千名以上にも及ぶらしいので漢江一白皚々たる漢江上の氷雪を蹴つて青年男兒の意氣を示さんこする勇躍滑走の勇姿は血湧き肉躍る壯觀を呈するであらう超て青年紳士諸彥へ學生少年！壯烈なる男性的競技大會は廿五日第三日曜午前十時より開催せらるゝ筈で

競技の種類……は

滑走五周、十周、二十周、スプーン、提灯、變裝、載囊、旗取、蜜柑拾、背進、二人一體、マリーカーブS字形、來賓競技等の數種であるが當日第一の呼物は二十周マラソン

實現近からむ

京城株式現物取引市場

資本二百萬圓也 愈々認可の指令が下るらしい

久しく世人の翹望に反いて許可を懊みつゝあつた京城株式現物取引市場も一陽來復の新年を迎へて今日愈々許可の指令が下るらしい元案四億七千萬圓の資本を擁し幾多銀行會社の存在する朝鮮に於て株式を賣買する機關の無かつたのが既に

時代の趨勢

に背反して居るのに、近時朝鮮經濟界の異常なる發達に伴ない居住內地人は勿論鮮人の多數が公債社債其他一般有價證券を賣買所有する額は非常なもので之等の公定相場を定むる機關の設置は理論上から云つても實際上から見ても是非必要なる事は萬人一致の見解だつたが、株式取引所の設置は取引所法の制定がない爲に却下に成り、數派に別れた內鮮方面の出願人は何等かの名義の下に認可を得ようこ

各自籌策を

續らして居たのは現在迄の經過であつた然るに今春に入つて形勢は急轉直下、釘本藤次郎氏を發起人總代こする京城株式現物取引市場は曾て幾多交渉擬議の結果資本金を增加し定款の一部を變更し第二回の追願を提出して愈々認可の指令を俟つの狀勢を示し鳴りを鎮めて居る。借て同市場の第二追願の內容を記せば從前一百萬圓の資本を追願で二百萬圓にし更に

今回の追願

で資本を三百萬圓にし存立期限を滿十箇年こした外に目的を『所屬仲買人をして有價證券及び現物取引を爲さしめ且つ其受渡しに對し代金の一時立替を爲す事あるべし』こ改め證據金は所定値段の…

大同小巽の

もので定期の猶豫に比し現物に於ける直取引こ取引の先、三ケ月の猶豫に比し三日間の延取引が行ひ得るこすれば乘替解合の緩みもあるものこ見做されて兎に角米の標準相場は此市場に依つて定まる譯で有價證券株式の所有者に取つては此上もない福音であらう。

漸次下火

龍山の流感

兩將軍の家族良好

龍山に於ける流行性感冒は漸次下火こなり十日の死亡者は內地人二名鮮人七名十一日の死亡者は內地人一名鮮人二名にて臥床者は逐次減少し新患に至りては僅かに一日三四名に過ぎず宇都宮軍司令官の令息令孃三名も昨臘以來流感に罹られ經過中なりしが漸次輕快に向ひ將軍及び令夫人須磨子の方の愁眉も漸く開きし又都築師團長夫人令息の流感も殆ご全快に近づき其他將校家族には目下の處危險症狀のものなく軍及び師團の軍醫もやつこ一息吐くを得たり又龍山鐵道病院の流感患者數も減少し一時は院長以下看護婦も昨今やれ／＼こ假に疲勞を慰ねたる狀態にあり

元日に萬歲の計畫が破れ

主謀者七名逮捕 何れも未青年者

全南珍島城內普通學校生徒は去卅一日夜七時より獨立運動を企て翌元旦を期し萬歲を叫ばんこし未然に發覺せり主謀者七名皆未成年者にて兩班の長男多し彼等の思想は所謂國士を氣取り居れるものなり(光州特電)

裾模樣慎しく 梅が香匂ふ

將校婦人新年會

軍司令官邸にて

龍山衛戍地居住將校婦人は恒例に依りもつこ早く新年會を開催する筈でしたが折惡く軍司令官令息令孃が流感の爲め臥床し大將夫人須磨子の方が看護に忙殺されて居られたので延期中の處幸ひに令息令孃の病も忌り全快に近づいたので來る十五日午後一時半から軍司令官々邸で開く筈で當日は各將校夫人が集まり紋付裾模樣を慎ましく宮邸に白梅紅梅の紅白の梅あわかに匂ふ大食堂で卓上のおしやらお菓子やらサンドウヰッチやらを圍みながら打融けた茶話會を開くさうです

吉十郎一座を觀る

初日は前狂言明智光秀と貳番目の本蔵下駄荒を觀たばかりで切狂言の誰谷眞生坊は見ることが出來なかつた總體の感じから云へば役者よりも舞臺が不完全な爲めに劇劇の興味を殺いだことは非常な殘念だつた、殊に花道が暗くて短かい爲めに肝腎の六法引込など一向映えないのが惜しかつた▲右狂言中吉十郎は『野崎吾助』と『若狭之助』を勤めたが吾助よりも若狭之助の方が佳かつた。之は此優の柄から云つても當然なことであらう此優は插摩屋の型を踏んで居るだけに癖風から云へば腹があつて氣障がない。それから表情には可成り精悍な氣が溢れて居るに拘はらず其感じや印象は非常に柔かな艶を持つて居る。そこに渾然たる藝術味がある、▲中村時蔵は『だいばの仁三郎』に扮した。吉十郎に比べるこ丸で反對な柄を持つた優だ。すべてが荒削りな風である。それだけに吉十郎の向ふに廻るには釣合ひが取れる特點もある。▲嵐梅蔵は『わび助』こ本蔵に扮した。そしてどちらも老役としての老巧さを見せて呉れた。殊に本蔵のよく出來た。思ひ入れなごに稍物足りなさを感じさせるやうでもあるが吉十郎に次ぐ貫禄の性味を持つた優だ。▲市川團丸は『おしづ』と『みちさせ』に扮した吉十郎との比較は免れないが吉十郎に亞ぐ女形を見られなかつたが恐らく鬼に角では女形として孤舞臺の觀があることは疑びを容れない。吾等の初日觀つた。動作にも表情にも柔か味に富んで居るが此優の資格であらう(千鳥)

長春の馬賊

支那人一名を射殺し 本年始めての馬賊被害

十一日午後七時頃長春鐵道北運輸會社石炭運搬事務所に支那人馬賊三名闖入し支那人事務員一名を射殺し金六十圓小洋四十九錢帖二百五十帖を奪ひ逃走せり本年に至り此馬賊被害が之が嚆矢なるが最も暮正月迫りつゝあるを以て尚斷呼馬賊出沒するやも知れず(長春特電)

鵞口瘡蔓延の兆

咸南黃海に發生

發生以來平安南北道に限られたる如き觀ありし鵞口瘡は今春に入り俄然各地に蔓延の兆あり咸鏡北道鏡城邑內には累計三十七頭の鵞口瘡發生し黃海道殷栗郡二道面內にも二頭發生形勢輕視すべからざるを以て發生地に於いては道より獸醫出張防疫を勵行し居れり

甘い說諭願ひ

龍山お多福の色香に 迷つた丹三郎

龍山彌生町遊廓お多福樓方抱へ娼妓お多福こと中倉まさ(三七)は三十年昔ながら美人にて男を惹込む腕ありされば此女に迷ふ相手も尠からざる中に最も迷ひ居たるは京城府竹添町木材株式會社員浦川丹三郎と云ふ男にて昨年十月頃お多福こ深く云ひ交し末は夫婦になるからとて居たるが昨年五月…旅費を送り…丹三郎に申し込み來り丹三郎の悦びも一方ならず…七十圓を送りたるに旅費として足りぬこ又々追加…同月十日更に…同月十五日二十圓七月二十…三十五圓計百三十五圓を送りたるも一向來るを左右に託して出發せず思ふに詐取したるものなるべしこ恐れながら來ないかと…調べ願ひ度しこ十三日其筋に…甘い說諭願ひ…

平北義州に 馬賊襲來

北義州地方に出警中

一月一日午北義州郡加山面方峴洞四八面朴三與方に八名より成る支那人馬賊襲擊し來り中二名は房に闖入し金品を出せこ迫りたるに其際來合せたる主人の弟朴俊植の短銃を奪ひ格鬪中二名の馬賊は戶外に見張中なりし他の六名の應援を求めたるより六名共內房に闖入し騷ぎ騒ぐ家人全部を縛し多額の金品を強奪して夜暗に乘じ何れにか逃走したる爲め目下其筋にて嚴探中なり(安東縣特電)

日本詩人も參加

羅馬東京間の飛行

ビレスコ中尉は羅馬東京間の長距離飛行準備中なるが出發は一月中旬の豫定なりダヌンチオ氏及び日本詩人下井氏も亦同行す可し飛行航路はサロニカ、バグダット、カルカッタ、廣東、上海、北京、朝鮮、大阪の順序なり(羅馬電報)

龍山雜事

職工の盜み　龍山…(一四)は十日夜十時頃…百五番地村田梅吉方店頭に陳列中の木綿ジャケツ一枚價格四圓を窃取…逃走せんとする處を店員に發見され其筋に訴へらる目下取調中

運動界

スケート場は頗る好評

近く開設の朝鮮體育協會が過般來明治町銀テニスコートに新設中のスケート場は非常な好評で入會申込も陸續ある相であるが何にしろ暖氣さ雪でスケート場の氷結が旨く行かぬので今日迄延びてゐたが近く三寒四溫を待て速成を期すると共に入會申込者へ葉書で通知を發する由

演藝

▲黃金館 一の替りとして…より▲前狂言『伽羅先代萩』▲切狂言『…布引』…

灯ともし頃

…市民も大分弱つたらう…降雪で京城の…れつこになつた…見ゆてぞろ／＼雪を利用する…夫をしだしたか面白い▲本町邊の商家で雪達磨の大きなのを造つて廣告に用ひて居るのも見るうちに自家の前に放つて居るのが▲他店の前を早く綺麗に掃つて呉れこ…人目につく▲水を撒き…に都合の惡い場所の…の雪で洗ひ清めて居るの…つきだ▲成運動家が『これ…の雪に京城では何故雪合戰…しかないのか』こ不平を…居た▲宗乘賤子は所有の…三十六萬八千圓に見れたさうな…大福々

本社主催
全鮮スケート競技大會
場所 漢江氷上
期日 大正九年一月廿五日
申込締切期日 一月二十二日
詳細逐次發表

大連近事

九年度豫算 大連市九年度豫算編成に就ては市の關係各方面よりの豫算請求書も大約提出濟みとなりしを以て本月下旬早々財務委員會を開催し豫算の査定をなす筈なるが市會は例年の通り一月末より二月初旬に亘り開催せらるべく同市會の議案中重なる者は九年度豫算の件及び諸規程の改正、市營問題、市長問題等なるべきが後二者に在りては相當紛議を重ぬる事ならんと一般に觀測し居れり、九年度豫算に就ては實科高等女學校々舍の新築、吏員其他の俸給の爲め八年度に比し著しく膨脹すべく即ち八年度豫算歳出總額四十二萬七千六百七十七圓、内經常費三十九萬五千六百五十四圓、臨時費三萬二千二十三圓なりしが明年度豫算は五十五萬圓乃至六十萬圓に達すべしと觀ぜらる

寄附電話 通信當局に於ては本年度寄附電話決定濟みの分に對し、電話架設の趣旨を徹底せしむる爲め大要左の如き意味の告知を爲せり

一、寄附金を指定期日迄に拂込みなき時は棄權したる者と看做し採納を取消すべし

二、未開通の電話は他人に讓渡する事を得ず若し之れに違反し缺約等に依る讓渡の事實ある時は認可を取消すこと

三、寄附電話は申込書に記載せられたる器械設置場所に取付け之が移轉請求は電話開通前後たると問はず現實に新取付け場所に居住し且通信管理局長に於いて器械設置場所變更を認許したる場合の外一切要求に應せず但今回の寄附電話申込みに際し開通工事施行の際加入者が其場所に現住せざる時は申込を取消すべし

四、同一人にして連絡ある多數の他人の名義を用ゐ或は筆跡を變更し二通以上の申込書を差出したる等の事實を發見したる時は採納認可を取消し又個數を減ずべし

五、本寄附電話開通せば出來得る者が本寄附電話の開通に先だち現加入電話を他人に讓渡したる事實ある時は寄附電話の開通工事は繰延べを爲すことあるべし

六、商業登記を了せざる會社又は會社創立事務所名義にて申込みたる寄附電話を採納したる者にして本年三月末日迄に商業登記を了せざる時は寄附電話採納は一應取消すべし(大連)

大正八年中 仁川の貿易(二)

(前年に比し增加せる重要輸移出品)

煙草 煙草には葉煙草及び紙卷煙草の二種あり八年十一月末迄の輸移出合計は六十萬八千圓にして前年との比較は二十三萬八千九百餘圓を增加せり葉煙草の增加せるは鮮內耕作面積の增加に伴ふ輸移出能力の增進せるに依る加ふるに時局以來葉煙草の需給頗る圓滑を缺けるが爲め自然朝鮮產煙草の需用を喚起するに到り多く支那方面に其輸出を見つゝあり或は內地移出なきに非ざるも更に內地を經由して米國に仕向けられつゝあるもの、如し

肥料 十一月末には三十二萬九千三百餘圓を算し前年同期迄の成績に比し二十五萬八千九百圓の激增を示す主として米糠其の大部分を占むるは鮮內の精米業の盛なる爲め副產物の增加せるに依るは論を待たず需要地は內地關東方面を主とするものにして內地生絲の相場高に因由して桑園耕作の著しく增加し之が肥料として使用せらるゝもの多きが如し其他三菱製鐵所の副產物として生ずる硫酸アンモニヤの如き近時多量の輸移出を見つゝある爲め前年に比し約二十五萬圓の增加を見たるものなりとす

鐵及び軟鋼 八年十一月迄に百二十八萬四千四百六十八圓の多額を算したるが本品は本年に於て新規に增加せる品目たり而して其製造元は兼二浦製鐵所に在るを以て同所の事業開始により冬期間の結氷期中のみ仁川より輸移出せらるゝものなり其他新規のものとして

銅 の輸移出を見江原道旭銅山の產にして八年十一月迄に一萬五千圓を算したり即ち同礦山の事業開始により品目の增加なりとすべし

鐵鑛 昨年十月以來延平島に於ける鐵鑛採掘を開始せる爲め初めて新品を出だし十一月迄は八萬六千九百圓を算し前年の僅々たりしに比し實に七萬七千餘圓を增加せり尙ほ將來の產額は頗る有望なるべく從つて輸移出品中に相當の額を有するに至るべし此外減少せるものとして

小麥 の八萬五千圓を減ぜるあり斯は內地相場との不引合に原因して全く輸移出を見ざりし狀態に基因すべし

重石礦 は戰爭終熄後歐米の需用減少して全く輸出を見ざるに至り本年度に之が價額を計上せず昨年二萬七千餘圓を算したるのみにして其影を沒せり

人蔘 は其數量に於ては增加せるも價額に於て約三萬圓の劣勢なりしに因るべく輸移出狀況に於ては前年と大差なきが如く其十一月迄の價額は一千六百九十四圓を算し約三萬圓の減少となれり(仁川)

書記講習會(光州)

全南道[illegible]講習會に於ては所屬各組合[illegible]

要旨(高武理事長)組合員の選擧貸付及預金業務取扱上の心得並に之に關連し注意すべき事項(小林理事)諸帳簿の記帳[illegible]

鎮南浦市民會 平元線速成運動

來る十四日鎮南浦に於ては平元鐵道速成問題に關し市民大會を開催することゝなり市中は非常の人氣を呈し居れり(鎮南浦)

大田面長辭任

大田面長岸辰一氏は一身上の都合に依り客年十二月二十五日郡廳に辭表を提出したるを以て高津大田郡守は一月十二日午後一時より面相談役學校組合評議員各區長其他有志を招集し後任問題に就き協議をなしたるが詳細は次號に報ずべし(大田)

全南金融組合會議

二月三日より三日間光州光山館にて開會の全南金融組合理事會議の日程は左の如し(光州)

第一日第二日訓示及諮問事項答申

第三日指示注意及事務打合

○朝成會役員更任 大田水力電氣速成期成會長內藤雄氏は一身の都合に依り辭任したるを以て一月七日委員會を開催し後任として會長に辻謹之助氏副會長に村尾伊勢松氏を推選したり(大田)

○平壤手形交換高 十二月中に於る平壤各銀行手形交換高左の如し但し圓以下四捨五入(平壤)

種類	枚數	金額
小切手	二、三六九	九、三三一、六九九
送金爲替	三一七	三三五、一六六
仕拂命令	四四七	一、二六六、八五五
郵便爲替	一〇八	九六、〇七九
雜證票	六四	三五二、七六四
合計	三、三三五	一〇、四七三、〇〇三

慶南の產業(四)

慶南事務官 車田篤氏談

工業 に就いては本道產業の特質に鑑み自然力殊に火力水力に因る動力の缺乏に照し其の將來を豫測することは困難なるものあり然し乍ら從來桑地を有し原料の生產に適せる苧布麻布織の如きを農家副業として獎勵するは今日鮮人の經濟狀態に於ては適切なりと認めらる殊に近時苧麻大麻の如きは原料として異常の高價を唱へ田作畓二毛作としても收益少からず其生產一段步に付百五十圓內外を示すの有樣にして他の如何なる農作物としても其利潤に匹敵するものなきやの感あり之等の特用作物が本道の地味に好適するは幸なるに依り將來に於ては其加工業と共に大麻苧麻の增殖改良に一段の力を用ふるは蓋し徒爾ならざるべし製紙事業の將來も又有望なる●殊に目下試植中なる智異山伽倻山其他に於ける三椏の栽培にして成功せんには從來悲觀せられつゝありし和紙の製造も亦有利に解決せらるべし一昨年及び昨年に於て其曙光を認め得たるは欣快なり

水產 本道の海岸は一帶に屈曲に富み又洋上數十百の島嶼散在し海岸線の延長千二百餘海里に達し鰮鯖鰆鯛鯵太刀魚其他多數の魚族蝟集し加ふるに海上概して平穩にして作業上利便なるのみならず氣候良好にして內地との交通も又利便なるが故に內地より移住者若くは通漁者も少からず濟に於ても特に斯業の助長振作に力を用ひ即ち漁撈に製造業に養殖業に各適切なる傳習若くは指導をなし或は漁船の補助又は改良漁具を給與して就業に容易ならしめ一面には勵めて漁業組合水產組合若くは鮮業組合類似の團體を組織せしめて之を指導し他面には水族の濫獲濫漁を禁じ蕃殖保護を圖ることに力を用ひたり其の產率顯著なるものあるは蓋し自然の勢ひなるべし大正七年の產額一千二百萬圓にして昨年に於ては一千四百萬圓に達せるなるべし右は概して漁獲數量の多きと魚價の益々騰上せるの結果なるが然し乍ら昨年に於ては鯖漁業稍不振の狀況を呈し支那に於る日貨排斥の影響は乾鮑、海參、淡菜、貝柱其他の支那向き貿易品に影響を及ぼし當業者の困厄見るに忍びざるの悲境に陷れるものあり

要之 本道は原始產業特に農業並に水產業に好適し之に關する各種の事業は何れも顯著なる發達を遂げ其の何れをも捨て難き情態にあり而して昨年に於ては各種農產物に就ては此の天惠と氣候の順調とにより(西北鮮地方が旱害の爲に困厄せるに比すべくもあらず)異常の豐作を示し農民は一般に堅實なる收入を得たる上に一般經濟界の快樂に耽りつゝあり其裕なる事未曾有にして會社を起さんとし銀行を設立せむとする新機運は近來非常の熱度を以て昂騰せり農家餘剩利得の利導は今日爲政者の最も注意すべき所なるべし(完)

全州と流感 左程に激しからず

今や各地に散漫しつゝある流行性感冒は客年十二月下旬頃より再び全州をも襲つた然れども今回は比較的緩慢にして發生當初より今日に至る迄の患者累計二十三名にして中死亡者僅々三名にて現患十八名あるも傳染力は目下の處一般に微弱と見ゆ病勢激烈ならざる如く肺炎を併發する者稀なるも今後益々流行を逞ふするが如き事ありては之を轉ばぬ先の杖式に全州面長は警察署と豫防方法に就き種々考究する處ありたるが之より先全州署に於ては各方面に亘り豫防注意書を配布し尙掲示場にも夫々豫防に就て掲示する處ありたり一般は自衞が肝要なり(全州)

晉州の流感

晉州にては過般來惡性感冒猖獗を極め死者一日十名以上を出だし爲に人心恟々たり(晉州)

前田法院長葬儀

故平壤地方法院長朝鮮總督府判事前田信兆氏葬儀は十一日午後二時平壤南山町大照寺に於て行はれたるが會葬者五百餘名に達し甚だ盛儀なりき

○釜山輸入組合招宴 釜山輸移入商組合に於ては十二日午後六時より鳴戶にて盛んなる新年宴會を催せり

○大田館の披露宴(大田) 昨年末旅館大田館を讓り受けたる元燈屋主成松宇多吉氏は一月十日午後七時より料亭富士屋に大田官民百五十餘名を招待し披露宴を張りたり

甦れる東萊と 釜山水道 水量漸增

數箇月に亘り降雨少き爲め釜山水道は涸渴に瀕し東萊溫泉湧出湯量の頗に減退せるは既報の如くなるが十二日來の雨にて共に水源大いに濕ほひ漸次水量增加するに至れり(釜山)

[illegible]は猩紅熱にて順化院へ▲黃金町三丁目三百二十番地大江[illegible]子(二)同周一(六)は八日猩紅熱[illegible]

[illegible]日午後九時頃市內明治町二丁目[illegible]

光州の兎狩延期

既報の全南道廳勸業課員を擧げ[illegible]

伊達騷動 第百十三席

小金井芦洲講演

熊田甚吾のお供

小『成る程御見送りの儀は其邊の事も御座らう、然らば御言葉に從ひ相止まるでござらう、なれども爰に一つの御願ひが御座る、と申すは熊田甚吾兵衞と申す者を、此片倉小十郎と思召されて江戸表へ御連れ下され御逗留中は何卒御側へ御差置き下されば幸甚の至りと存じますが　安『熊田甚吾兵衞……承はつたるやうにも存ずるが、如何なる人で御座るかな　小『ソレ御失念も有らう、永年江戸詰で居ります故、先君御隱居龜千代君御代變りの砌り、萬代職を立てよとの御沙汰、危く兵部少輔を萬代職に立てんと相成りたる時、席末より萬代職の儀餘人は知らず拙者大の不承知で御座る、惡人輩は片ッ端から摑み殺して呉れんと、怒鳴り立てた、彼が勇猛無雙の手腕を知る者から、惡人共も一言もなく彼が必死の諫忠に依つて評定も滅茶々々と相成つたが、其節原田甲斐が熊田を尻目に掛けてニッコリ笑つた時の凄さ、拙者甚吾兵衞を別席に招き、汝の誠忠は能く知るなれ共、汝江戸に居ると惡人等の謀計に陷入られ、非業の最期を遂ぐるは必定吾國表白石へ參つて潛んで居よ、時節が肝要なれば時節を待つて、御館を思ひ、汝を思ひ斯申聞ける、萬一予の言ふ事を聞き入れぬならば其方は誠の忠臣ではないぞと說きました故、其說に從つて夫れより急速江戸表より當地に參り、以後今日まで藏匿置きました熊田甚吾兵衞で御座る　安『ヤ其事々々……思ひ出しました　小『彼は實に律氣一方、身の丈七尺に餘り、筋骨太く逞しく全く天下稀に見るの豪傑で御座る、彼何時しか貴老が此度の事を聞き知り伊達安藝樣が御呼出に相成し由守護は必ず私を御召連之有るやう御周旋下され、安藝樣は六十餘萬石柱石の御方變事もあらば一大事、是非御召され下さるやう、萬一相成らんとならば先年私は狂氣亂心の御取扱ひに相成りたる者モー當御館の臣ではアー御座らん、大惡人伊達兵部少輔、原田甲斐さへ斬つて了へば事落着、大河急流も源を絕たば末流涸る、萬一御供が出來んければ左樣いたす、先づ伊達安藝樣へお願ひ下されよと、モー貴老の到着を待ち兼て旅裝ひを整へ鞋を腰にブラ下て、今か〳〵と待つて居ります、何卒此事は小十郎から枉て願ふ御無理ながらお聞き入れを下さるやう　安『イヤ、何から何まで御當殿の御心添へ辱なう御座る、永らく會ひませぬから相も變らぬ甚吾が勵の涼しさ、斯樣な者を召連れまするは拙者の僥倖、是非に同道致すで御座らう　小『然らばお聞き入れ下さる、とかい當人の喜悅如何ばかりか、兎も角も此處へ呼出しませう……ヤア〳〵熊田甚吾兵衞參れ……』言葉の終らぬ內に襖の外で　甚『ハアー』其聲宛然雷の如し　小『最早や其處へ來て居たのか』襖を開けて入來る旅裝ひも嚴重に腰に草鞋を提げ、右手に大刀を提げ、立てる體格偉大な一見猛勇の士　小『今の次第を聞き居つたか　甚『失禮をも顧みず御次に推參致さず承はり居りました、段々この御言葉有難く存じ奉ります、涌谷樣には絕て久しき拜謁を仕りませぬが、愈々御勇健の段を拜し御家の御爲め此上もなく御喜び申上げます　安『甚吾久々で會つたの……其方迚も無事で喜ばしいぞ　甚『此度は御老體の御身、御出府の段御勤勞に存じ御察し申上げ奉ります　安『夫れでは其方大儀ながら江戸表へ御供致すであらう、萬々の儀頼入るぞ　甚『ハッハアー　小『コリヤ傑て申したる通り、其方は熊田甚吾兵衞ではないぞ、斯く云ふ片倉小十郎なるぞ　小『道中は勿論、江戸表はアー別して油斷なく警護を怠るな　甚『毎度ながら其任意は受けて居りますが、何分にも斯樣な武骨者、誠にハヤ世上の事は疎い私なれど、猿藉者とあれば何十人來る共、何の片端から睨み殺して御覧に入れ奉らん』

會席御料理 京城南山町二丁目龍屋別莊下 竹の家 改め 岩翠 電話(本)一六三番

將棋新手合(完)

於京城旭町 白木將棋會 六段△湯呂木光治氏(京城) 兩駒落番 ▲有賀光雄氏(京城)

(圖は前號指了迄の局面)△持駒 湯呂木氏ナシ

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂		歩	歩		桂	香	
	玉	銀		歩	歩			
	金	歩		銀	と	歩		
		金		歩	銀	歩		歩
歩	銀	歩	玉	歩	と	歩		
香	桂						桂	香

△三一歩ナル ▲五一金ヨル △五五金 ▲同金 △五二ミ ▲五五 △九角ナル △七九玉 ▲六八玉 △八四六飛 ▲七八金 △八金迄にて有賀氏の勝

總評 本局は最初下手方三筋より力戰趣向を採りし爲め上手として六八銀と引して受け方にて勝ち振りて中盤戰に於て六八銀と指したるを六步の五四步から下手方敵の時五二飛と詰むべきを五六銀と指せし爲め五筋にて五六銀を指し再變したるも上手方の惡手をなし遂に敗局の已むなきに至れり

一月十四日

水曜日 舊十一月廿四日 …北方 …方 佛滅

▼八白 戒愼を要すべき日なり

▼九紫 不平の起り易き日なれど耐ふれば耐ふる程末に利あり

▼一白 諸事共に平運の日なり

▼二黑 親みのあるなつかしき日にて注意して進まば諸事吉也

▼三碧 外面のみ好く內面苦しき日殊に病氣を充分注意すべし

▼四綠 手違ひの起り易き日なれど時節來らば幸福となるべし

▼五黃 共同事業に有利なる日但し我慾に走らば凶事至るべし

▼六白 誠意を盡さば盡す程面白き樣に金錢の揚がる日ならん

▼七赤 愉快なる日にて仕事を思ふ存分に爲さば必ず効果あり

[illegible]することゝなりたるが、支那人[illegible]居れるものなるが去る七日午後[illegible]南線裡里驛構內に於て鮮人女四十歲位のもの轢死し居れるを巡[illegible]車入驛の際乘降場通路を鮮人男三名橫斷せんとせしに[illegible]れし出初式は都督府方面の命令により六日に擧行せられたり[illegible]

名藥紹介

感冒の流行 引風とたんせきは 卅錢か五十錢で直ぐ治る

但し油斷したら大變! つまり早いもの勝ち

◇近頃上市流の家庭で非常に評判のよいセキドミンと云ふ藥がある、宮田醫學士と敗津といふドクトルが、多年共同研究の結果、合劑して製劑した現今流行の惡性感冒を容易に撃退する事ができる痰咳感冒の良藥セキドミンが夫れである。

◆セキドミンと云ふ藥は、流石に宮田敗律の兩大家が苦心の製劑であるだけ世間のありふれた藥とは全然異つて、主として貴重藥のみを配合し、之が小さな錠劑にした、せきどめ感冒藥としては蓋し新發製のものであり、殊に子供や婦嫌ひの人でも飲み易く其服用量は少くして、其効力は實に大なるもので評判は非常に良い。

◆誰でも若し咳の爲に烈しく息切れがしたり、咽喉にたんが出たり、喘息や病後など咳の出る時に急いで此セキドミンを服めば、始めて手がらに痰咳が止る。又、氣管支加答兒、肺炎、感冒、風邪などに一回四錠、一日分五十錢、徳用二十錢で三十錢、一回分も解け、胸がすく。此藥は、試用二十錢、三十錢、

◆此セキドミンと云ふ藥は、痰咳の妙藥であるが、一ッには此用心の爲め家庭の常備藥として之れを買ひ置いて客も少くないと云ふ事であるが、成程服入となつて居る藥であるから、其栓を堅くして置けば保存にも亦至極宜な藥である、殊に製法は他に類のない飲み易い藥であるから服用に便利である。

◆各地の信用ある藥店で賣つて居る、好商品が類似の藥を賣り出して顧客を瞞しゐるから、殊にセキドミンと指定して買へば安全である。

本舖 東京銀座 大阪東區 中南定太郎藥房

◇正月のお樂み 新流行八形腕卷時計 (四) 此時計は何時を指して居ますか? (賞) 正解者當籤者壹人に限り上圓の腕卷時計五百個提供 應募及宛名は東京神田區表神保町十 太陽堂

〆切 一月三十日限り 主趣方法 本品は始めて新案になれる流行八形ガング、キング印腕卷時計なり一見銀側代用品同樣にして美術裝飾品として最も歡迎せらるゝ良品なり 今回は賞物廣告の爲め且つ新春の御禮として前記の方法にて當籤者には金拾七枚封入御申込の方に限り直ちに發送す、急ぎ投書あれ

るいれき ジフテリヤ ルイレキリキラズ 播州明石郡 御申越次第詳報す 横山本邸

あざ ほくろ入墨ソバカスなますにきび等を害なく治す 取れる事請合の藥あり說明書は切手二錢添へ 東京府大森入新井町 博濟院

ぢ 痔で困る方切手三錢でキズに治す良藥を無代で教ゆ 名古屋市南小川町五〇 救生舘

中風病 余が家は祖父及び父と母の三人とも同病にて困難したる經驗より苦心研究の結果發明し[illegible] 無代進呈す 兵庫縣明石市中町 加古忠兵衞

▲▲▲最新 肉筆美人鑑 ポケット珍書〇春の花〇見本廿錢 六拾錢 郵券一割增 東京神田區猿樂町 四二三七五 廣榮堂

最新刊 勞働組合法と勞働組合規則 同盟罷工論 職工組合論 資本經濟諸話 日用便覽 北濱と兜町 勞働と信仰

京城本町一 大阪屋號

MITSUWA GINSENG WINE.

Mitsuwa Ginsing Wine, being rich in the nutritive properties which build up vitality and strength is very delightful to taste and also remarkably wholesome and nourishing to the weak and sick. By means of the exclusive method the fresh juice of the grape and the efficacious Ginseng are mixed in a well-balanced combination. Then it is assimilated completely and transformed, with the least possible tax on digestion, into the elements of active capacity and power. Mitsuwa Ginseng Wine is especially effective to be applied in the following cases: Energy decline and low spirits, Nervous bebility, Innutrition before and after delivery, Night spoil, Poor appetite, Indigestion, Poverty of Blood, Hysteria. Price ¥ 1.80

疲勞を醫し新活力を賦與すべき模範的强壯料 ◎ミツワ人參葡萄酒

定價 壹瓶 金壹圓八拾錢 (內地以外は關稅運賃を加ふ)

風味高潔衛利滋養豐富 元氣增進既齊作用優秀

本品は最近科學的研究を經て、効力卓絕なりと認められたる人蔘の周密の操作に依り、芳醇無比の葡萄酒に配合したるものにして、其の色は紫紅にして鮮麗、其の香は芳芬にして澄爽、其の味は濃厚にして甘快、坊間流布せる類似品とは全く其の撰を異にし、能く何人の嗜好にも順應し、元氣を增進せしめ、榮養の佳良並に身體の强壯を齎し、精神の困憊並に筋骨の疲勞を除き、健康者に精活力を與へ、病弱者に滋養を與へ、本品は隨時隨處飲用すべく、一度飲用したる者は必ず愛用し(以下[illegible])飲料を以て解釋するも可なり

▼如斯人は◎ミツワ人蔘葡萄酒を用ふべし

一元氣を盛にしたい人　一精神を爽快にしたい人　一體力を增したい人　一身體を强壯にしたい人　一元氣良く活動したい人　一延年長壽を願ふ人　一精神や筋骨の疲勞を早く回復したい人　一食欲を進ませたい人

一消化を良くしたい人　一榮養を良くしたい人　一精力が減り元氣の無い人　一勉强又は勞働して疲れた人　一生來虛弱な人　一身體の疲れ易い人　一貧血して居る人　一顏色が悪い人

一手足や腰が[illegible]　一疲つかれ[illegible]　一些細の事に[illegible]　一悲しい[illegible]　一精神の[illegible]　一時々氣が[illegible]　一陰萎[illegible]　一器械的[illegible]で居る人

發賣品目錄御申越次第送呈　ミツワ石鹼本舖　東京日本橋區橘町　丸見屋商店

Scientific Research Made
MITSUWA GINSENG TABLETS. 100 tablets ¥ .50 500 tablets ¥ 2.00

This remedy feeds vitality to the strained and careworn nerves and dispels the brain fag. It is efficacious for anaemia, inanition, hysteria, hypochonderia, energy-decline and is especially good for kidney troubles. Not only improves the muscular tone and invigorates the nerves, but it also excellent for the means of recovering vigor to persons of weak constitution who are flabby and incapable of continued exertions.

人蔘の効價を極度に發揮すべき代表的人蔘劑 ◎ミツワ人參錠

効能 神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血、胃腸炎、貧血、老衰、榮養不良、精力減退

ミツワ化學研究所に於ては、豐富なる學識と精密なる檢案とに依り漢藥人蔘を系統的に研究し、頭腦、催眠、利尿、興奮、强壯等の諸作用を確知して、ミツワ人蔘錠は該研究を基礎とし、合理的に製出せり、神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー及腎臟等の疾患に對し、諸症候、即ち精神興奮、情調異常、意志薄弱、記憶力減退、睡眠不安、消化不良、心悸亢進、手足厥冷、腦貧血、頭痛、偏頭痛、眩暈等に對して偉効を現はし、頭腦を明晰にし、又精力減退即ち精神の困憊並に筋骨の疲勞を除き、其他の苦惱を除き、分娩前後及び[illegible]疾患[illegible]、貧血並に[illegible]

定價 百錠入 金五拾錢 五百錠入 金貳圓

◎ミツワ人蔘錠應諸症候

一頭が重く或は痛く頭の內が朦朧する人　一眼の疲れ易い人　一逆上て恍平となる人　一眠らうとしても眠れぬ人　一魘れて凶い夢を見たりする人　一些細の事を氣に懸ける人　一何事にも怒り易い人

一精神の鬱々する人　一悲しい事の無いのに泣きたい人　一何事も悲觀して厭世的になる人　一物事を深く考へる事の出來ぬ人　一物事の理非判斷の出來ぬ人　一雜念頻りに起り集注の出來ぬ人

一物事の記憶の不良い人　一神經衰弱に罹つて居る人　一血の道に罹つて居る人　一陰萎や遺精で[illegible]　一腎臟病に苦しむ人　一産前産後又病後の[illegible]　一腦を防ぎたい人　一精力を強くしたい人

一、工業所有權戰時法に關する勅令
一、巴里經濟會議に設委員會廢止の勅令
一、……別に外務省告示として松井大使……の前文及び條約の規定に依り効力發生すべき事項として
一、阿片條約二、黃……

商況

金利弱含み

朝鮮銀行券は年初めの數日間に一千五六百萬圓の大收縮を來し昨今一億四千九百萬圓所に落ち著き居れるが各銀行は年末放資の回收漸く順調にして手許の餘裕を生じ來りしため商品界株式界共に資金の疏通を來し年頭前に舊曆年關を控へ又米穀出廻り資金の需要を氣構へ居れる關係上警戒の念依然ゆるめず匆々より活勢を呈し居れり只目下金利は二錢八九厘所に居据り居れど調合の壁を持し內地の金融一層緩和し來らば目先一二厘の下落は期待し得らるゝに似たり

森鐵拂込期日

森林鐵道の第一回拂込金五圓は十五日を期限とせるが明日後は稍對に猶豫せず適宜發起人にて處分する由

日銀帳尻 一月十日現在

左の如し(東京電報)

發行高	一、五四一、五一二、〇〇〇
正貨準備	九五四、七〇二、〇〇〇
限外發行	一七〇、七四〇、〇〇〇
貸出高	四三一、六三八、〇〇〇

○鮮銀券日報 一月十日現在左の如し

發行高	一四八、四七九、五五〇圓
正貨準備	五五、八一六、四二〇
限外發行	四二、六六三、一四〇

財界閑話

◇京城銀行も愈々來る株主總會に倍額增資六百萬圓案を提出し株主は內鮮人の區別を設けぬ事とするらしい▲韓氏務もその◇株主に內地人を加へぬと云ふ從來の主義は大勢上不可なりとし敢然改正を實行する事に決定したやに聞く▲機略もあり目先も利く同君の事だから鮮銀株の市場出現は同行の人氣を一層よくするだらう▲鮮商業銀行では當期一割配當案を立てゝゐる、朝鮮の銀行で一割以上の株主配當をやつてゐる所は田舍の小さいのに二三あるやうだが先づ主要銀行として商銀を以て嚆矢とする▲岩崎新支配人も一方には行員の待遇を改善し更に株主を增配によつて喜ばすなど當波アヂをやつてゐる、その飛け頭から五光もいくらかさうさうと云ふものだ▲色々の意味に於て悲境に立つのが內憂外患と云ふが岩崎商銀の現在はその反對に內給外歡だらう。これを同君に諮解を呈すると君の勿體らしい云ひ草に『イヤ僕の來るまでにかくなし得る素地が出來てゐたのです』▲これは必らずしも謙遜でもあるまい、前支配人の豐田君や池田現營業課長等の努力の結果ではある▲かくなし得るやうな所にやつて來たのは君の幸福だが然も盛んにかくなして行く所に君の愉快と君の手腕があらう▲尤も一割の配當をしやうとする商銀の五十圓株が六十圓の內に切れてゐるのは多少情けない、これは浮動株乏しきためなれど、何とか仕樣もありさうなものだ▲京城現株市場も釘本君等の出頭以來殆んど一年餘はその出現がない而して何んだ彼だともんでゐる▲釘本君曰く『もう許して貰はんと周圍の事情が許さぬよ』と。周圍の事情とは現株賣買熱の旺盛と新會社の續出を意味するのである

株式

東京現株特電

○十三日中値

銘柄	拂込	▲騰貴△下落 時價
鮮銀	一〇〇・〇〇	二五〇、〇〇
同新	一〇〇・〇〇	二四九、〇〇
東拓	五〇・〇〇	……
一新	三七・五〇	……
二新	三二・五〇	……
殖銀	四〇・〇〇	一一六、五〇
東亞	三二・五〇	……

東京株式 至急電報

●十三日第一立會

銘柄	前場	前電比
東株	五一三、九〇	六、一〇高
同新	五一六、五〇	一〇、四〇高
鐘紡	一九二、〇〇	二、二〇高
一新	一八七、五〇	三、三〇高
二新	一五六、四〇	……

大阪株式 至急電報

銘柄	十二日後場大引	十三日前場寄付
大株	四六五、二〇	四七四、九〇
同新	四七二、〇〇	四七八、九〇
郵船	二四五、〇〇	二四五、七〇
同新	一三八、一〇	一三九、〇〇
商船	一七〇、七〇	一七二、八〇
同新	一六六、八〇	一六七、九〇
鐘紡	四九三、九〇	四九九、九〇
同新	三八一、四〇	四八九、九〇
東紡	三一七、五〇	三一九、一〇
東糖	二〇九、四〇	二〇九、九〇
堂米	二〇六、五〇	二一一、〇〇
上取	一三七、六〇	一二四、九〇

安東現株特電

○十二日(好勢)

銘柄	當限	先物
安東信託(寄)	三三、五〇	三五、九〇
(止)	三五、四〇	三六、二〇
▲出來高	七一七枚	
滿洲錢證(寄)	二四、五〇	三二、〇〇
(止)	三一、〇〇	三三、〇〇
▲出來高	一、一二〇枚	

京城現株 標準値段

銘柄	拂込額	▲印騰貴△印下落 時價
仁取	二五・〇〇	▲一八二、〇〇
朝郵	二五・〇〇	四一、〇〇
電興	二五・〇〇	一六、〇〇
皮革	三〇・〇〇	二五、五〇
東畜	一二・五〇	一五、〇〇
朝紡	一二・五〇	▲三六、〇〇
朝紙	一二・五〇	三八、五〇
商銀	五〇・〇〇	五八、五〇
同新	一二・五〇	一九、〇〇
滿毛	一二・五〇	▲四七、〇〇
朝煙	四〇・〇〇	三八、〇〇
鮮土	一二・五〇	一七、〇〇
東亞	五〇・〇〇	九七、〇〇
同新	一二・五〇	四〇、〇〇
中鐵	一二・五〇	一五、〇〇
殖鐵	二五・〇〇	一五、五〇
朝日	一二・五〇	一二、五〇
安信	一二・五〇	▲三六、〇〇
錢證	一二・五〇	二二、〇〇
京銀	二〇・〇〇	二四、五〇

京城現株市況

今朝は東拓の引締き高移りに人氣稍引立ちたる模樣あり殖銀亦漸次硬化の氣勢を示し本社入電は百十六圓に新田商店入電は百二十圓買りを報じたるを以て恐らく中値十七八圓ならんとの觀測起りて人氣を喚び又仁取の高値一圓五十錢方上伸に百八十二圓五十錢の手合せあり尙ほ安東信託は別項所記の如き材料に買聲起りしこれに關聯して滿洲錢證の高入電となり市況頗に活況を呈せり昨午後より今朝に亙る出來高平均値左の如し

銘柄	平均値	出來高
東拓一新	七六、五〇〇	一〇〇
同二新	四一、五〇〇	六五〇
殖產銀行	一一五、〇〇〇	五八〇
朝鮮銀行	二五三、〇〇〇	一三〇
同新	二五一、五〇〇	二八〇
日韓新	九二、〇〇〇	一〇〇
滿洲二新	一四六、五〇〇	三〇〇
滿洲錢證	二五、〇〇〇	一〇〇
仁川取引	一八二、〇〇〇	五〇〇
朝鮮電興	一六、五〇〇	五〇〇
朝鮮紡織	三六、〇〇〇	一〇〇
中華企業	六〇、〇〇〇	一二〇
東京瓦工	三九、〇〇〇	五〇〇
京城銀行	二四、〇〇〇	二〇〇

東京現株別報

▲東株四九〇、〇〇▲滿鐵二新一四七、〇〇▲郵船二四二、〇〇▲商船一六九、〇〇▲鐘紡四八〇、〇〇▲東拓一新八一、五〇▲鮮銀新二五〇、〇〇▲殖銀一一五、〇〇▲朝鮮三七、〇〇(十二日和光商店入電)

日清紡績 一七二、〇〇 一〇
特許瓦 一五、五〇
四分利債 八〇、三〇 一五〇

大阪、竹原商店朝鮮總特約店
公債株式現物問屋
新田耕市商店
京城櫻井町一丁目
電話五七〇番、一八八一番
受信略號『ケイセツニッタ』

仁取更に上伸

仁取株は昨日の百八十一圓に對し今朝一圓五十錢方の高値八十二圓五十錢にて手合せあり徐々好勢を示し來れるが同株は實價觀よりするも目下の値頃は割安と稱せられ居れば一般金融の漸次引弛むに連れて此際或は前高値を歷ずるに至らんかと云ふ

安東信託好勢

安東信託は別項特電の如く十二日先物三十六圓二十錢と入れ寄地の出來値より一圓二十錢方上走り向ほ奉天方面は既に三十九圓を唱へ居れりと云ふが右は豫て噂されし米穀取引開始の計畫再燃に伴ひ一千萬圓程度の大會社に改造して同地產物の大宗たる木材柞蠶豆粕等の取引をも兼營する豫定にて目下私かに運動を進め居れる由を傳へらるゝ爲ならんと云ふ

滿洲錢證奔騰

滿洲錢證交換株は昨入電先物三十二圓と入れ當限との差一躍七圓五十錢を生じ先高人氣を呼び居れるが右は別項安東信託の大改造說に付隨して將來之れが買承現の曉は同社事業の一部を繼承するに至らずやとの氣構へならんかと

京城府光化門通 公債株式現物問屋 二和商店 電話三二六八・二七七一 振替京城二〇四

殖銀株昂騰

殖銀株は頃者又復銀行株流行の兆に連れて漸次引締りつゝありしが昨本社入電は百十六圓と入れたるも新田商店へは二十圓買りの入電あり從つて十七八圓處迄は買手ありと見らるべく三千萬圓に增資の件も既定の事實と稱せらるゝ折柄謚し當然の成行と云ふべし而して同行は現在七朱配當に過ぎざるも政府補給を辭退せりとの事なれば今後業績の如何に依りて增配も可能なるべし

東拓引續昂騰

東拓株は引續き優勢にて角中商會入電は七十八圓五十錢買を報じ既に唱へは八十圓を突破せるものゝ如きも當地の手合せは立遲れの氣味にて未だ右の高値を現出せず高値は主に內地との取組なるが之れが原因に就いては種々傳へられ或は一割二分配當と云ひ或は更に增資を見るべしと云ふも未だ遽かに信じ難きものなり

東洋紡績割安

東洋紡績は目下現物二百十四五圓見當なるが同社は現在資本二千五百萬圓を來る三月末日より倍額五千萬圓に增資決定し居る由にて舊株一株に付き新株一株を割當てらるべきが假りに三百十五圓として拂込五十圓を控除し二百六十五圓のプレミアムなれば新株のプレミアムを極めて內輪に見積り舊株の四分の一とするも六十五圓强となり之れに時價を加算する時は三百八十圓

米況

近頃餘地ありと云ふべく而かも積立金を挽し六割の配當を繼續すると云へば目下の相場は非常の割安と稱するを得べし

東京期米特電

●十三日前場
前場寄付 五十一圓五十九錢
後場寄付 五十一圓四十七
八日後場 ……

大阪期米特電

●十三日前場
寄付 五一、七〇
高値 ……
安値 ……
止め ……

神戶期米特電

●十三日前場
前場寄付 五十一圓八十九錢
中限寄付 五十圓九十一錢
●十三日前場
寄付 五〇、七五
高値 ……
安値 ……
止め ……

下關期米特電

●十三日前場(時化、新動機待)
二節 五一、〇六
寄付 五一、一〇
安値 ……
止め ……

	中限	先限
寄付	五〇、八六	五一、二〇
高値	五〇、八六	五一、三
安値	五〇、八九	五一、二五
止め	五一、〇	五一、二〇

仁川期米

十三日前場(瓦落)

今朝天候西の風に晴天谷地入電未著なるも前日阪地の止安に買氣を阻害され當出來ざるが中山尹の賣りに四十八圓四十四錢と始め先限五十圓二十錢と三丁安に寄付き〇五錢と下叩きせしが押目はマバラの群衆買ひに小口の手詰買ひに十三錢と跳返したるが戻りは地場二流の賣浴せに買方中堅たる不二の利喰ひ賣りも幾分加り〇五錢と再び押し八錢と小戻しに引
▲第二節 當中出來ず先〇九錢より地場の賣叩きにマバラの投げ物を誘起して小口の手詰買も消化し四十九圓七十錢と瓦落し押目待ちの新規買いに三錢と小戻しに引
▲第三節 當出來ず中二十五錢と⑦買に不勢に始めたれば先限は益投げ物を喚起して七十三錢より硬派の防戰に四錢と上伸せしが遂に敵せず五十五錢と叩き込まれ漸く小口手詰めに七錢と返して引
▲第四節 當出來ず中⑦の壓迫に二十錢より十錢と不勢を辿りしも④全買に二十錢と返したれば先限にも買物頻發し一氣に七十錢と反撥し戻待買に六十五錢と弱みし機先大阪の高寄さに益々買氣を助長し場面は底入れ模樣となるや地場二流筋の投げ物を喚起し八十三錢と返し七十五錢と押し八錢と手堅く引
▲第五節 當出來不申中三十錢より八十錢と反騰せしより先限は買物殺倒して八十二錢と始め一氣に五十圓丁度に躍上げしも戻りは小口の手詰めと新規買も加はり九十七錢と弱み再び五十圓の關門を突破し〇二錢と拔きしも引際の事とて小口の手仕舞ひに崇聞れ九十七錢と打止めたり

浮動亂高下

前日後場より買方の後援者として市場の注意を惹きたる不二興業會社の手仕舞賣と地場某筋の途轉賣に場面の形勢一轉せし折柄大阪後止めの安移りを入れ今朝は地場二流筋の賣崩しを試みしも押目買に其利目薄く五十錢二十錢と寄付を高値に殘し三節には投げ物旺盛と金切處分の賣物に四十九圓五十五錢と高値より

後場(正米師賣)

引際賣過ぎと反動に氣勢を改めし場面は後場に至り更に買氣助長せり當出來ず中⑦買に四十錢より五十錢と反撥せしかば先限は寄付五十圓丁度より……

平均値段		
十三日前場	一節	四九、八五
	二節	四九、六四
	三節	四九、七七
	四節	四九、九七
	五節	四九、八五

出來高 三十四萬一千八百石

帳入値段 四八、五三 / 五〇、二七

		寄付	高値	安値	止め
十二日後場	當限	五〇、五五	五〇、三三	五〇、三三	……
	中限	五〇、九〇	五〇、七二	五〇、二〇	五〇、四八
	先限	五〇、三一	……	……	……

取組高 六千九百石 / 二萬四千百石 / 二萬二千二百石

市場雜觀

場面の商勢は昨後場から變して漸落步調となりたが押目は透かさず鮮人筋の群衆買ひに某會社の買玉が居据り强硬なるを示し▲在米薄の正米の賣で底意存外强硬なるも前日の如きは期米の反撥を傍觀の態度を示して正米の割仲力鈍く下辿りとなり三等合格標準米で四十九圓一二十錢見當を唱へて居る狀態であれでは如何に群衆が先高見越旺盛でも一寸買過ぎの觀あるのみか當中限とは百三十丁の上鞘を買進まするとは正米師としても出來難い事なり▲正米師の方は手持米を掛けて來る傾向が弗々あるのではないか……正米師と云ふのは出來難き事と云ふも知れ何れに歸著するかは容易に勝敗の判別が出來難いが採算本意より正米に有利な相場となるやうな事多き無鐵砲の鮮米相場は踊散らかされる事と思はるゝ▲結局は大正八年度の正米に支配される理から新年以來の凶作を表現した本年度の貢租も殆んど無借金で商人の手持少く現況では正米は殆んど引締然たるものと云ふべく採算空賣は意外に…

東京期米(十三日前場)

▲急騰百十五丁の反落を演じ跡更に不勢の光景を示せし機先大阪前寄五十一圓〇八錢三節十一東京五十一圓七十錢兵庫九十圓七十九錢と何れも氣丈を移し軟派の猛烈なる相場に相俟つて場面は買物れ物殘出しら引際に五十圓〇二十七錢に打止めたるが買方の中堅の傾向なれば共羽音により是非走たる不二興業も前日後場の賣玉一萬二千石位にて安値は買直しの灯連の先走を爲し安値の突込みの警戒となり限先の形勢甚だ侮り難く鮮米の大勢として無意味の賣屋道は危險視され居れり

渡米樂觀戻賣

過般來釜山、仁川等にて內地筋の買付を爲したる正米は可成の石數に上り定期市場に於ては既に鮮米壓迫の懸念を傳へしが今朝寄付後に發信したる大阪電報によれば當限渡米は今日迄にける買附鮮米によりて調達樂觀となり同事に大手筋は一齊戻り方針を取るに至り趣にて鍍漸次期近かに對する空賣米化せんとするの形勢を眺めたる硬派も漫然たる時樂觀賣のみを許さざる傾向にて限先下放れの氣構へ多く場面の商勢は高値買狙らひ優勢となり來れりと

京城正米市場

仁川期米の今朝前場は波瀾裡に結局昨前場より七八十丁の反發をなしたる買過ぎ反動を豫期し居たる處へ鮮人も素より深く無智なりしを演ずるもの無き事を示せり米價を値唱觀で買込は時期尙早の觀があるらしいと押目を狙ふ買方の態度も侮り難くないさ云ふ……

(京城正米市場)出來難く昨今の狀態より推攻るに▲仁川市場で二十丁以上百丁の高値も買收するに五十丁以上百丁を買進んでも全部調達は本年の鮮米相場は算盤合ひて米足らず…

栗再び持合ふ

地方及び地場需要口の望取りに昨來立直り氣味なりし滿洲栗は平年ケの外は依然傍觀的態度を取りて乘出さず僞めに今朝は聊か氣配に左の取引ありたり
長春或は公主嶺二三月積二車二十二圓四十錢▲海城一車現物二十三圓七十錢▲古渠現物一車二十一圓丁度

大豆と綠豆

大豆滿洲物は相變らず閑散の裡に推移せし氣味なるも少しく好望を唱へ持合ひ中にも前々氣丈の振合ひを示し今朝は龍山物一車二十九圓三十錢又綠豆は最近滿洲物若干の輸入ありし爲め人氣聊か伸び合ひ氣を示し三十一圓に手合せありたるが他品の弗々な模樣を示したり……

仁川正米市場

一定期の暴落を移せし正米市場は入人氣弛みて賣人一齊に見送りの模樣なりしも手持筋は容易に賣急がず今朝は商內出來ざりしも人氣は二十錢安の四十九圓十錢見當を唱へ居れり

釜山正米市場

內地期米調の爲め釜山正米市場も氣配不振の狀を呈し二十錢安の三等神力四十九圓二十錢二十五錢四十九圓三十錢四十錢所にて一二一千の手合出來

大豆滿洲及び內地の活況に伴れ頗る活氣を呈し五十錢高の京釜二十八圓所にて一千五百叺出來

洋紙滅切高

(十三日釜山)

洋紙は昨秋來同業間中に輸出撒上の手段として値上げを避け撒而の壓迫動の計畫ありて之が表現の狀態を持し續けて來り原料及工賃其他の費用增嵩に撒面市場の狀勢は此間漸次に昂騰の春の趨勢を示して今日に及び殊に新物價格の上り株式米絲其他の强値に入りて各高值に至つて一般に勢ひを示し……要求に應じて紙價一般に增々…

京城正米市場

朝鮮米况……

日本に初めて出來た美乳の姉妹美容料
純白美乳(ホワイトビニウ)

又コンナ珍らしいものが近代科學の最新研究に依つて發明されました評判の日本に初めて出來た美乳の美白素を基とし更に特種の秘劑を配合したもので僅か一滴で皮膚の生地から白くする作用美しくなる效果の著しき事實に驚くべく從來有觸れた化粧品の類と根本成分の異た不思議の白色劑であります

◎家庭で美乳=外出に純白美乳!
純白美乳は美乳の姉妹美容料でありまして此二つを併せてお用ひになる事に依つて全き婦人美は初めて發揮されるのです、故に家庭に在つては朝夕洗面の後又入浴の後などに常に美乳をお用ひになれば皮膚の根本組織を白くし美しく且つ肌の荒れを防ぐ事不思議な位です如斯して立派に整つた膚の上へ外出の時純白美乳をお塗りになると一滴ですぐ女が見ても惚々する程のお化粧が出來ますから其色の白き美しさはまた格別です。

◎主人は美乳=奥樣は純白美乳!
美乳は目立たぬ白さに男子の皮膚をも美しくする獨特の秘劑が加味されてありますから殊に紳士のあごの美乳一滴は近代紳士の口を揃へて賞讃愛用することなつて居ますそれ故に御夫婦の外出姿を見ますと主人は美乳、奥樣は純白美乳で婦人美と男子美との好一對、加之純白美乳はタッタ一滴で立派にお化粧が出來上ります故男子と打連ての外出の時など全く申分なく其皮膚の美しさはやがて家庭圓滿の基となるのであります。

◎母君は美乳=令孃は純白美乳!
美乳はまた中年の御婦人に適し純白美乳は令孃の若き美を整へるのに必要であります、即ち美乳の白さを生地からのそれで少しも目立たぬ計りでなく之を常用する時は絕對に小皺を寄せませぬから母君に取つては眞に唯一無二の御愛用品、さて令孃は家庭では美乳を常用し外出する時には必ず純白美乳でお化粧致しますと上品な母君の外出姿と並び立て一層水際立た白き美しさを見せます此二品の御併用御實驗を切にお勸め致します。

美乳本舖 大學白粉本店
大阪東區農人橋一丁目八番地
矢野芳香園
電話東九九九番
振替大阪一〇三六三番

てんかん
癇ミコドモのヒキツケはドンナ重い病でも自宅でヒキツに治療する事を無代で教ゆ切手三錢送れ
名古屋市南小川町 敎生

御召工合良き靴
定價表呈 郵券二錢要
東京芝區櫻田伏見町角
內田靴艶店
電話(芝)三七番 振東京一六七番

貴化病院
京城黃金町一丁目 電話二四〇番
內科 小兒科
入院隨意 毎日五名を限り施療す
醫學博士 古城憲治
金澤醫學士 打田義芳

仁川本町 白神洋行
洋鐵鋼、諸機械 工具附屬品一切

金物商
月刊物價表 御申越次第進呈

京城南大門外 白神洋行支店

京日案內
普通一回前金七十錢 番外一回金壹圓二十錢(但名毎增加)
▲申込後中途掲載中止は料金不返戾▲六回以上の申込は特に割引の事

理髮職人入用
龍山目扱場所希望者は來談あれ
龍山鐵道官舍 卅八號ノ三 大山吉彌

仲居至急入用 給七八才ヨリ貳拾五六歲迄 但し通イニテモヨロシ
仁川 三吉野

看護婦至急募集
希望者は來談あれ
京城 長谷川町 安東病院

見習看護婦募集
希望者は本人來談あれ
京城本町二丁目七〇電話七四二番(浦尾旅館前) 京城醫院

レール九封度一哩 トロ 數臺 買入
鎭南浦 齊藤農場

年金恩給 長期低利日曜祭日不問即金御立替可致候
▲京城永樂町二西本願寺表門下角 江州屋本店

藥局生 看護婦及見習採用
平壤府泉町 齋藤小兒科醫院 內科

採用 男女外勤員十名◆女敎師一名◆女事務員一名 希望者履歷書携帶午前十時來談
京城黃金町 シンガーミシン會社 電話一五四二番

全高田仲買店
株式會社仁川米豆取引所仲買人
△大勢は買餘地乎
當市場寄引來トンく調子の反撥は金融緩漸く來年末年始の資金の迫りに正米崩れを期待せし空賣りの答めと察する計より內地筋の買進みに基因するらしいが去れ共尙之れ以上に値上りして行くか否かは此の後に於ける正米の成行き如何に係はるもの……本月下旬の年內の大勢は……
仁川海岸町三丁目
高田通信部
電信略符(タツ)振替三一八
電話長一〇〇番・一一一九番

陽春の株式
歲革まりて人心新なり株式亦新らしき活躍なかるべからず。觀よ財界の現狀を、更に吾人の投資熱の如何に旺盛なるを。火山脈は鳴動しつゝあり爆發遠からん。本會は年首勞頭の大成を收むべく茲に第卅三回を組織す、押て御協贊を乞ふ
▲申込期間 一月十九日迄(證券代用八掛)
▲加入金壹口壹百圓
▲會則說明書贈呈
第卅三回天新株式買同氣會
(大阪市北區堂島)(浜通一丁目三)電北長一九〇四番一二九七二番 振大四〇五六九

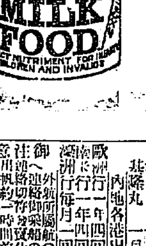
謹賀新年
朝鮮電氣興業株式會社
平壤
城一格
君島一健

謹賀新年
平壤 大同興業所
所長 西山吉次

眼科專門 金井眼科醫院
京城若草町(新道路中程)電(長)一五五六
新年落成◎入院隨意◎日曜祭日午前中

來る十四日より三日間棚卸に付休業仕候此段各位に謹告仕候
京城 村木時計店
電話長四七壹番 振替三壹九〇番

ネッスルミルクフード
小兒 虛弱者 老衰者用 滋養品
世界を通じて刀圭界の御推奬を蒙れり
▲授乳期の母親が本品を飲用すれば乳質を改善し乳の分泌を催進す。
▲母乳以外に濃厚なる食物が嬰兒に必要なる場合にはネッスルミルクフードは最も適當なり。
到る處主要なる藥店及食料品店にて販賣す。
瑞西、英國、及米國のネッスル及アングロ、スヰス煉乳會社にてのみ製造す。
▲見本申込者は次回の廣告に掲載可仕候



大阪商船出帆 仁川出帆
大連行 安東丸 一月…日 後四時
神戶大阪行 平壤丸 一月…日
天津行 元山丸 …
清津行 安平丸 一月…日
釜山門司宇品神戶大阪行 安平丸 一月…日
上海基隆打狗行 湖北丸 一月…日
歐洲行 … 內地各港出帆主要航路
仁川代理店 京城 內國通運會社支店……

共同汽船出帆 仁川
大連直行 第二共同丸 一月九日 十一日
青島直行 第十共同丸 一月
大連直行 第六共同丸 一月
…… 第三共同丸 一月
京城 阿波共同汽船株式會社……
仁川代理店 本町四丁目 野口 …
元山代理店 …
京城取次店 河村運送店

朝鮮郵船出帆
▲天津行 敦賀行 立神丸 一月…日
▲浦汐行 雄基行 平壤丸 一月廿四日
▲雄基行 忠南丸 一月廿八日
▲元山線 鏡城丸 一月廿七日
▲大阪行 平安丸 一月十八日
▲關門行 忠清丸 一月廿二日
京畿丸 一月四日
▲金剛山遊覽便 …
▲鬱陵島行 盈德丸 一月廿五日
▲釜山浦項行 呂平丸 一月廿六日
▲濟州島行 西廻 一月…日
東廻 公州丸 一月廿六日
▲釜山麗水線 慶興丸 …
▲木浦行 咸興丸 一月廿三日
▲多島海行 慶州丸 一月廿二日
▲木浦行 晋州丸 一月廿六日
▲海州行 仁川丸 …
▲鎭南浦行 … 一月…日
▲大連青島行 江原丸 一月廿三日 芝罘經由
朝鮮郵船株式會社 京城本社 ……
元山支店 仁川代理店 木浦代理店 京城荷客取扱店 ……
其他各寄港地ニ乘客取扱店アリ

戀の蜘蛛

江見水蔭

押繪　近藤紫雲

「七十二」

大森行きの電車が來た時には殺う如何しても乘らずにはゐられなく成つた。それで、出るばかりの場合まで待つてゐて、チン〳〵と鳴ると同時に乘車した。

これには客が甚だ少かつた。でも北馬場から六七人乘つて南馬場からは更に又八九人乘つた。

其中に濱大學生が乘つてゐたので、互に吃驚した。

『あツ、龍子さん！』

『あら、濱さん！』

双方から聲を掛け合つた。

幸ひ龍子の隣が明いてゐたので、濱太刀彥は腰を掛けた。

『何方へ？』と濱から問掛けた

田部谷に聞はれた以上に龍子は行き詰つた。田部谷のは戯談が多い濱のは誠意からのであるから。此人に僞りの答へは仕難いのである。

能く家の事情を知つてゐる人だけに、隱す必要は無いのである。

『實は姉の行方が知れました。それを會見する爲にと云へば好いのだけれど、然うすると水上伯の名を出さなければ成らぬ。今それを發表して好いか惡いか。つひ伯の承諾を得てゐなかつたので、一寸云ひ出し難い。

『あの……知つた方に誘はれまして……池上まで？……』

『ワツ池上？池上の何處へですか』

『曙か、曙樓……とか……』

『曙樓？』

濱の眉は見る〳〵顰められた

『ですが、他に女の連も御在ます』と龍子は辯解らしく云ひ足した。

『問題の家ですよ　曙樓といふのは……』

『……ですが……その女の連は……いづれ後でお話し致しますが……極眞面目な會見ですから……』

『いゝえ、それは、どんな家へ入らツしやらうとも貴女の意志さへ鞏固なら、少しも問題には成りませんが……』

『濱さん、大丈夫ですわ。然うして此事を後でお話しましたら賞郎も喜んで下さる事なんですから……』

『それなら無論結構です』

然う話てゐる間に電車は走りくて、青物横町から、鮫洲、濱川と過ぎた。

『あツ、私は立會川で降りて、友人を訪問するのです……いづれ其間』と云つて濱は立上がつた。

『左樣ですか。それでは失禮致します』と龍子も挨拶した。

『氣を著けて入らッしやい』

『はい……』

濱大學生は立會川で降りて行つた。

龍子としては何處までも濱が同行して呉れたら好いとさへ考へた。

行先の方が不安である。いくら姉と一緒だとて、水上伯に連れられて行くのは、何となく氣が咎けるやうに思はれるからである。

伯も後援者である。田部谷も其通りである。日立もさうである。併し眞の後援者といふのは樫宮翁と濱大學生より他には無い樣な氣さへ生じるのである。

電車は鈴ヶ森、それから海岸の分岐點を過ぎて、大森の終點に著いた。

急いで構外へ出て見たが、姉も見えなければ、伯も見えぬ。

何うしたのかと、いよ〳〵不安に成つた。

日報歌壇

女の歌へる

□　葉　子（瑞興）

見馴れたる壁の釘さへ遊凞無き心に觸れて眠られぬ夜半

はしためとなりて一人の客なさへ曉にも迎ふわが明日の爲

わびしくも足袋の穢れの容ろく眼につく朝を雪多く降る

あされ髮梳ろさへ物憂くて見入る鏡に妻の雪降り

はしための甲斐無き愚痴を云ふ事も我がはしたなき業と知れども

朝戸出は家からまし客人に茶碗落なぞして參らする

□　衣川　幽子（龍山）

足やすめ石に憩ひて見はるかす出息も悲し此世の旅人

果てしなき野を行き行きて其の極に幸はすむそと我心示ふ

石になれ石の心を我がもてと叫ぶ女の聲きけよ君

無謀なり自らの爲め泣く胸はむくろさなりて我が果つる迄

喞くべく生れ來し身かウエルテルの戀は此世にあらざるかひさ

迷ひごとに思ひ疲れてふと見たる空は悲しき灰色の空

聲あげて友よと呼べど何方か姿も見せで木枯の吹く

□　本田　哀子（光州）

ひたぶるに涙はふり落つこの夜更木枯は止まず遠砧鳴る

木枯の吹きしく夜半を乘りやらず幼な兒の如家戀ひにけり

夜すがらを思ひ惱みて今は早たかふる心詮すべもなし

疲れたる眼さづればしく〳〵と心の隅を行くは誰ぞや

□　さ　ゆ　り（京城）

虛なる心抱きて歸る夜の更けし大路に月遠白し

さんざめき遊べる後の淋しさはうつろの胸よりぞ湧く

□　大藤みどり（京城）

うら若き人の死を聞く此夕わが胸暗く何かおびゆる

日に一度母への文を書くと云ふみじき事を君に聞くかな　小　舵

規定　一人十首以内の事　住所氏名明記の事　字體明瞭の事

年賀端書の色々

山縣前政務總監例に依り風流酒脫な年賀端書を新案して左の俚謠を附記せり（背面生）

辛い三十日（味噌香）は被の子のこゝよかけて苦勞もさるのこし

東都俳壇の名將寒川角骨氏の句に曰く

病窓明けずしてあり初雀

其昔臣雪中として議會壇上に知られたる立川卓堂氏近年大患に在り近作三首を附記す曰く

營々役々老勞身、只愧功名不顯親、一笑一婿吾事了、中中顧作讀書人、

臘ノ五日

近日吾家慶事繁、毎逢慶事對芳樽、今朝復酌芳樽酒、旭日昇時得阿孫、

庚申元旦

老來忘老酒相親、到處江山好發眞、一醉不知身作客、邊城迎得七回春

次青油同兄瑤韻　持地東䐈

禍福幾枚從舊春、時移勢變景還新、治韓要識無多子、草木均霑雨露仁

其二

同是江湖不繫船、破風破浪跡茫然、半生曲首忱如夢、朔北炎南二十年

房州海岸より　鳥兎

島松や昔ながらの海霞む

初富士や海に臨みて松の色

心輕く霞を追ふて海の里

新刊紹介

▼朝鮮及滿洲（一五一）鮮滿に關する有益多趣味なる記事を滿載す（六十錢、京城南山町一の一四其社）

▼心の花（二四の一）佐々木信綱氏社中の竹柏會にて發行せる文藝專門雜誌（三十錢東京日本橋區本石町一の一竹柏會）

▼亞細亞時論（四の一）日本建國の大精神（內田良平）青島問題の科學的研究と日本の主張の理否（綠川新）滿蒙除外問題（小林丑三郎）朝鮮統治問題管見（三氏）外名士の時論及び趣味の記事（三十五錢東京赤阪區溜池二七黑龍會）

後の歌

▲私は脚部に豆粒位の白き斑點が出來一昨年頃より漸次大擴大致しまして只今では腹部にも慢延します自然と申すものでせうか醫療せずして回復するものでせうか全治する療法ありましたら御敎へ下さい（御願生）▲流行性感冒の後毎夜寢汗を出す樣になりました適當の全治法はありませんでせうか（寢汗生）▲貴社の主催下に女子歐留多大會を催して頂きたきものですね―（かたる狂女）▲私は昨夜某家へ『カルタ』に呼ばれ話の中に救世軍の話が出て何氣なく取締の○○さんも大變の信者ですさうですと云つたところがア救世軍のドインパイなものだと云はれくやしくてなりません百人以上の中でもあんな人が一人でも居ると私達までが一つにされるのですどこに行つても○○さんの品行を知らぬ人なしどうぞ皆さん私達だけでもつゝしみ世の人に我職務は名こそ惡るくても其職務のさうざいこと又女としてたゞへ一家の主婦となつても感心だと云はれる樣にしませう（芳子）▲無智なる市中の中の猿の如き者あるかと思へば情無しいらぬ中傷する間に都常一年の修身の本でも讀め、喞（テイ生）▲諸氏の中に手札形寫眞機、フイルム用の中古物をお讓り下さる方は御座いませんか（旭藍生）▲私が曾て內地小學敎員時代に非常な天才の一女兒がゐました小學卒業後家庭が貧しいので女學講義錄で勉强してゐましたが東京龜戶キャリコ株式會社の內には工女のための女學校があると云ふので同社へ十月工女に入りましたが僞だつたので當惑してゐます本人は將來敎育家たらん志望でゐますので之が勉學の階梯に困りむしろ女子敎育家の家庭に女中に入り勉强したいと云つてゐます、依つて誰か、下田、棚橋、跡見、山脇先生方か其他人格の高い御人の家へ御周旋下さるお方はありますまいか、勿論無給でよろしいのですが勉學の目的に適ふ待遇が欲しいのです（春岡）

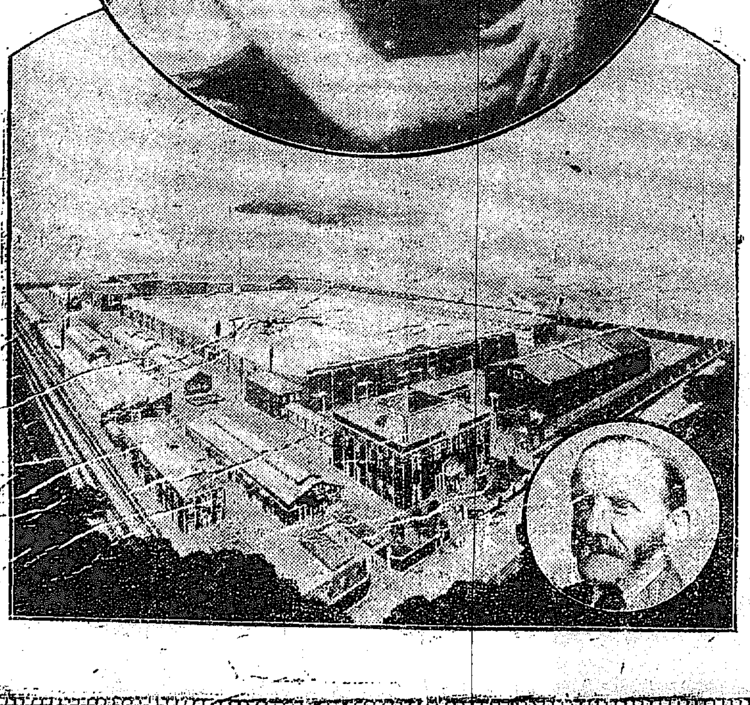
クラブ白粉本店新製品

カテイ石鹸

半生を石鹸の爲に捧たるクラブ本店招聘技師英人ウエンライト氏製造擔任

東洋一の化粧品工場で今回新たに出來た世界的の純良化粧石鹸

四十餘年に亘れる尊き經驗の結晶……品質の優秀は舶來石鹸以上



（上圖）カテイ石鹸の商標となれるルブランの名畫「母子」（下圖）カテイ石鹸并にクラブ化粧品第一工場と石鹸工場技師ジェームス、ウエンライト氏

カテイ石鹸は世界屈指の石鹸製造會社たる英國セードレー會社で四十餘年間純良石鹸製造の衝に當られましたクラブ本店招聘技師ウエンライト氏が來朝後第一回の創製品で實に日本で初て出來た世界的の純良化粧石鹸でムいます其の主要な特長は（一）原料が嚴撰してありますから成分が極めて純良な事（二）遊離アルカリ其他の刺戟物を少しも含んでゐませんから從來の石鹸と違ひ御肌を荒す虞は絶對にない事（三）乾燥が十分で組質が緻密でムいますから在來の石鹸より經濟な事（四）泡立が細で適度に溶解し垢落がよく皮膚を美しくする力に富んでゐる事（五）匂ひが清新で天然の花の香は御使用後も永く御肌に殘つて消わない事等で眞に舶來石鹸以上の優秀品でムいます

本月發賣